

# デジタルペア線式 マンションシステム

- 中央制御装置 VG-C101D
- 変換器 VG-R300D
- 3 L Cユニット VG-C984D

## ● 取付工事説明書関連

## ● プログラム設定書関連

### サービスをなさる方へのお願い

- ①・本書は、サービス技術資料用として、ご使用願います。製品同梱の取付工事説明書およびプログラム登録マニュアルより抜粋したものです。  
(詳細は、製品に同梱の取付工事説明書、プログラム登録マニュアルを参照願います。)
- ② 共用部（各種共同玄関子機、管理事務室親機、データ入出力アダプター、宅配ロッカーアダプタ）および住戸部（室内親機）には、デジタル信号 ↔ アナログ信号に変える変換器（VG-R300D）を必ず1個接続します。  
※変換器内部のスイッチ（SW1）で共用部に接続するか、または住戸部に接続するか設定をしてください。
- ③ 共用部、住戸部には変換器を接続する端子（+12V、-）が必要。実施年月は2000年2月切以降（ロットNo.02～）の生産分より。共用部、住戸部の裏面に貼付の品名紙には、品番の末尾に「R」が捺印されています。  
(「R」捺印のないものは、接続不可)
- ・1、2頁「デジタルペア線式マンションシステム機器の互換性について」を参照してください。

# 目 次

項 目	頁	
取 付 工 事 説 明 書 関 連	・デジタルペア線式マンションシステム機器の互換性について	1, 2
	・工事完了後のお願い	3
	・点検・サービス時のお願い	3
	・機器構成とシステム図、端子配置および雑音防止コアの取付方法	4～6
	・3LCユニット（VG-C984D）概要、外観、取付方法	7, 8
	・共同玄関子機の接続方法、機器番号等の設定	9, 10
	・管理事務室親機（VG-E485）取付、接続方法	11～13
	・管理事務室親機（VG-E485）イニシャルセット（初期設定）の方法	14
	・管理事務室親機（VG-E485）設定内容の一部変更・確認方法	15
	・管理事務室親機（VG-E485）工事設定メニュー詳細	16～18
プ ロ グ ラ ム 設 定 関 連	・管理事務室親機（VG-E485）音量およびLCDコントラスト設定手順	19
	・管理事務室親機（VG-E485）設定メニュー操作仕様	20～24
	・変換器（VG-R300D）	25
	・プログラム番号一覧	26～28
	・住戸番号の登録方法（室内親機側）	29, 30
	・プログラムボードの準備	31, 32
	・イニシャルセット（初期設定）の方法	33
	・プログラムの登録、変更、確認方法	34～36

# デジタルペア線式マンションシステム機器の互換性について

1 使用可能な共用部および住戸部は下記「表」を参照してください。

お願い：品名紙の品番の末尾に必ず「R」が捺印されている機種のみ接続可能

	品名	品番	品名紙の品番 (製品の裏面に記載)	実施時期 ロットNo
共用部	管理事務室親機・L S A室親機	VG-E485, VG-E486	VG-E485R, VG-E486R	2000年2月初 以降 { ロットNo 002より }
	標準共同玄関子機	VL-575AN-A, VL-575AN-S VL-575AY-A, VL-575AY-S	VL-575AN-AR, VL-575AN-SR VL-575AY-AR, VL-575AY-SR	
	逆マスターキー取付用共同玄関子機	VL-576AN-A, VL-576AN-S VL-576AY-A, VL-576AY-S	VL-576AN-AR, VL-576AN-SR VL-576AY-AR, VL-576AY-SR	
	テレビカメラ付共同玄関子機	VL-545CN-A, VL-545CN-S VL-545CY-A, VL-545CY-S	VL-545CN-AR, VL-545CN-SR VL-545CY-AR, VL-545CY-SR	
	逆マスターキー取付用テレビカメラ付 共同玄関子機	VL-546CN-A, VL-546CN-S VL-546CY-A, VL-546CY-S	VL-546CN-AR, VL-546CN-SR VL-546CY-AR, VL-546CY-SR	
	データ入出力アダプター	VL-M887	VL-M887R	
	宅配ロッカーアダプタ	VL-M889	VL-M889R	
住戸部	集合住宅用室内親機 (注1)	VL-M367FA□□, VJ-M368FA□□等	VL-M367FA□□R, VJ-M368FA□□R等	
	集合住宅用室内親機 (注1)	VL-365C	VL-365CR	

(注1) 接続可能室内親機詳細

	品番	品名紙の品番 (製品の裏面に記載)	備考
住戸部機器	露出型室内親機		
	VL-365C	VL-365CR	自火報なしタイプ
	VL-M366FA□□	VL-M366FA□□R	220号共同住宅用自火報タイプ
	VG-M369FA□□	VG-M369FA□□R	220号SVタイプ
	VL-M366LX□□	VL-M366LX□□R	AC24V、220号共同住宅用自火報タイプ
	埋込型室内親機		
	VL-M367FA□□	VL-M367FA□□R	220号住戸用自火報タイプ
	VJ-M368FA□□	VJ-M368FA□□R	220号住戸用自火報タイプ、電話機接続可能
	VG-M371FA□□	VG-M371FA□□R	220号SVタイプ
	VG-J372FA□□	VG-J372FA□□R	220号SVタイプ、電話機接続タイプ
	VG-M373A□□	VG-M373A□□R	220号住戸用自火報タイプ
	VL-M367LMA□□	VL-M367LMA□□R	AC24V、220号共同住宅用自火報タイプ

※VL-365C以外の機種は、自動登録が可能です。  
 ※VL-365Cでは、フロア別に一齐放送ができません。  
 ※VL-365Cを用いる場合、他の室内親機は混在できません。

## 2 機器の互換性について

※上記の□に記載の機種全てに該当します。  
 (次頁の室内親機一覧表も互換性については同様です)

←○→ 互換性あり  
 ←×→ 互換性なし

	品名	品番	製品の裏にある品名紙 (品番ラベル) の品番	
			(旧)	(新)
例(1)	標準共同玄関子機	VL-575AY-A	VL-575AY-A	VL-575AY-AR
例(2)	露出型室内親機	VL-365C	VL-365C	VL-365CR

# デジタルマシヨシシステム接続可／不可の室内親機一覧表

(注1) ・接続可の室内親機の名紙(品番ラベル)には、品番の末尾に「R」が烙印されていること。製造年2000年2月初以降(ロットNo002~)  
 ・品番の末尾に「R」付の室内親機には、変換器(VG-R300D)が接続できるコネクター端子(+12V, -)が実装されています。  
 ・品番の末尾に「R」なしの室内親機は、デジタルマシヨシシステムには、接続できません。

	MICS以前の室内親機			MICS 170号対応			MICS 220号対応			SV仕様			住戸用露出型	
	露出型	埋込型	露出型	露出型	埋込型	埋込型	露出型	埋込型	埋込型	露出型	埋込型	埋込型		
接続可 (注1)	VL-365C			VL-M366FA	VL-M367FA	VL-M367LAB8B	VL-M369FAA4	VG-M371FAA4						
				VL-M366FAA8	VL-M367FAA6	VL-M367LAB8B	VL-M369FAA6	VG-M371FAA6						
				VL-M366FA8	VL-M367FAA8	VL-M367LAB8G	VL-M369FAA8	VG-M371FAA8						
				VL-M366FA88	VL-M367FA84	VL-M367LMA	VL-M369FABA	VG-M371FAB2						
				VL-M366FA88	VL-M367FA86	VL-M367LMAA4	VL-M369FAB6	VG-M371FAB4						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA6	VL-M369FAB8	VG-M371FAB6						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VL-M369FAC8	VG-M371FAB8						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VL-M369FAD4	VG-M371FAC4						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VL-M369FAD6	VG-M371FAC6						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VL-M369FAD8	VG-M371FAD8						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VL-M369FAF4	VG-M371FAD6						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VL-M369FAF8	VG-M371FAD8						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VL-M369FAH8	VG-M371FAF6						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VJ-M368FA	VG-M371FAF8						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VJ-M368FAA8	VG-M371FAH8						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VJ-M368FAB8							
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VJ-M368FAC8	VG-J372FAA8						
				VL-M366FA88	VL-M367FA88	VL-M367LMAA8	VJ-M368FAD8	VG-J372FAB8						
	接続不可	VL-365GZC	VL-367		VL-M366A	VL-M367F「J」	VL-M368LMA	VL-M368FAA4	VG-TJ372AA					VG-J370X8
		VL-366A	VJ-334		VL-M366A88	VJ-M368「J」	VJ-M368LMA88							VG-37268
VL-367LM		VJ-334		VL-M366AC8	VJ-M368LM「J」	VJ-M368LMACS							VG-372H8	
VJ-330				VL-M366AD8										
VJ-331				VL-M366AH8										

## 工事完了後のお願い

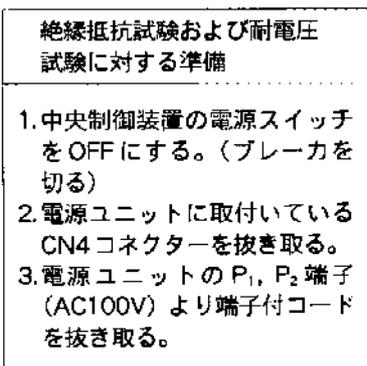
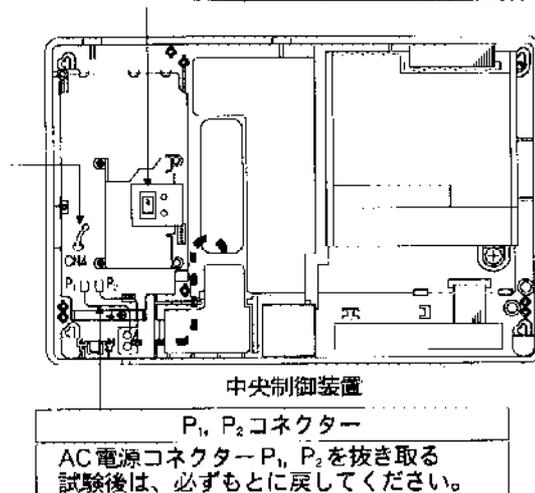
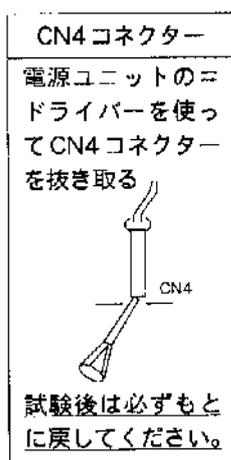
必ずお守りください

1. 誤配線やショート等がないことを確認してからAC電源を接続してください。
2. 取扱説明書にもとづいて、動作確認をしてください。
3. 「プログラム表の作成と登録」を参照し、必ずイニシャルセット（初期設定動作）を実施し、その後必要とする新規プログラム設定を行ってください。
4. 工事が完了したら、必ず次の内容をお客様へ説明してください。
  - ・中央制御装置に装備している停電用電池は7年に1回交換する必要があります。
  - （ただし中央制御装置の電源SWを頻繁に入・切するような使い方や長時間電源SWを切のままにするような使い方をした場合は、1年以内に寿命となることがあります。）
  - ・停電時の取扱い方（取扱い説明書を参照）
  - ・移設などで中央制御装置を移動する場合は、勝手に移動させないこと。
  - ・その他、取扱いの禁止事項や注意事項の徹底。
  - ・万一トラブルが発生した場合の連絡先。
5. 制御装置の周囲は他の物で塞がないでください。  
また天井の中等見えない所には絶対に取り付けしないでください。  
（保守点検、プログラム変更、また放熱の注意上）

## 点検・サービス時のお願い

必ずお守りください

1. 中央制御装置の各ユニットの取付け／取外しは、必ずAC電源スイッチを「OFF」にして約10秒以上経過後に行ってください。中央制御装置内部の電源ユニットに触れると感電の恐れがあります。また、電源ユニットは通電中非常に高熱になりますので「OFF」にした直後も十分気をつけてください。
2. 各ユニット内の電子部品（IC、マイコン等）や導電部には直接手を触れないでください。点検・サービス時は、静電破壊防止のため静電バンドを手首に装着し、リード線を中央制御装置のアース端子に接続してください。（静電破壊により故障や故障しかかりといった現象が発生します）
3. 電力会社で絶縁抵抗試験（500Vメガテスト）及び耐電圧試験（AC1KV）を行う時は、中央制御装置の電源ユニットに接続されている落雷対策用のZNRのもれ電流により不良と見誤ることがあります。電源ユニットに取付けられているCN4コネクタを抜いてください。その後、AC電源コネクタP<sub>1</sub>、P<sub>2</sub>も抜き試験を開始してください。（電源スイッチはOFF状態）



## 機器構成とシステム図

(※) 共用部機器は共用部接続端子または1系統接続端子に接続して下さい。

共用部接続端子と1系統接続端子に接続する機器の合計台数は共用部機器と室内親機をあわせて、64台以下になる様にして下さい。

(※) 住戸内の接続については、室内親機に付属の取付工事説明書を参照。

機器構成 (注2) 製品の裏面に貼付の品名紙(品番ラベル)には、品番の末尾に「R」が捺印されている機種のみ接続可能

	品名	品番	台数	備考	
共用部	中央制御装置	VG-C101D	1台	2系統128端末用を初実装(含む共用部機器)	
	3LCユニット	VG-C984D	1台	3系統192端末(合計320端末)	
		(最大2台実装)	2台	6系統384端末(合計512端末)	
	管理事務室親機・LSA室親機	(注2)VG-E485, VG-E486	8台	N:管理事務室呼出表示なし Y:管理事務室呼出表示あり -A:ゴールド調 -S:シルバー調	
	標準共同玄関子機	(注2)VL-575AN, 575AY	8台		合計16台
	逆マスターキー取付用共同玄関子機	(注2)VL-576AN, 576AY			
	テレビカメラ付共同玄関子機	(注2)VL-545CN, 545CY			
	逆マスターキー取付用テレビカメラ付共同玄関子機	(注2)VL-546CN, 546CY			
	データ入出力アダプター	(注2)VL-M887	8台	合計8台	RS-232Cまたは、RS-422Aインターフェース
	宅配ロッカーアダプター	(注2)VL-M889	8台		
	自動通報機	VJ 602B	1台	音声専用 (株)パナセキュリティオン専用(データ通報)	
	映像分配器(系統内)	VL-948	16台		
	映像分配器(系統間)	VL-948	16台		
	住戸分岐器	VL-949, 950	64台	パイプシャフト用・深型ボックス用	
	カメラ切替器	VL-994	4台		
カメラ用電源	VL-712A		テレビカメラ付共同玄関子機1台につき1台		
雨センサーアダプター	VL-M888	1台	VL-M982(センサー接続ユニット)が必要		
住戸部	集合住宅用室内親機(注1)	(注2)VL-M367FA, VJ-M368FA等	システムによる	住戸番号の設定は、自動登録方式	
	集合住宅用室内親機(注1)	(注2)VL-365C	システムによる	住戸番号の設定は、加付録-Dで行ないます。	
	住戸間通話ユニット	VL M606	システムによる	住戸間通話用に専用の配線は不要	
	変換器	VG-R300D	システムによる	共用部機器または住戸部親機1台につき変換器1台必要	
	モニターTVユニット	VL-B47TVAC, VL-848TV	システムによる		

(注1) 接続可能室内親機詳細(2頁も併せて、ご活用ください。)

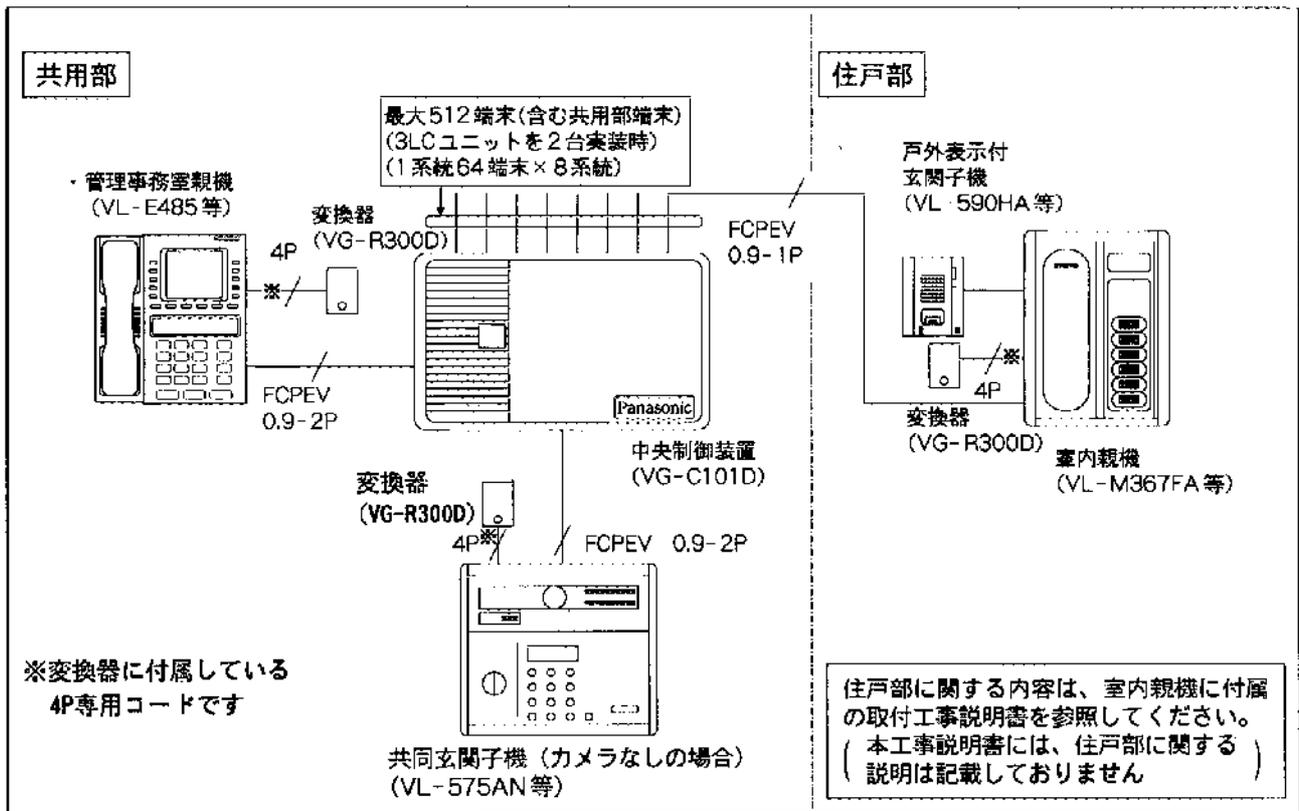
	品番	備考
住戸部機器	露出型室内親機	
	VL-365C(注2)	自火報なしタイプ
	VL-M366FA(注2)	220号共同住宅用自火報タイプ
	VG-M369FA(注2)	220号SVタイプ
	VL-M366LX(注2)	AC24V、220号共同住宅用自火報タイプ
	埋込型室内親機	
	VL-M367FA(注2)	220号住戸用自火報タイプ
	VJ-M368FA(注2)	220号住戸用自火報タイプ、電話機接続可能
	VG-M371FA(注2)	220号SVタイプ
	VG-J372FA(注2)	220号SVタイプ、電話機接続タイプ
VG-M373A(注2)	220号住戸用自火報タイプ	
VL-M367LMA(注2)	AC24V、220号共同住宅用自火報タイプ	

※ VL-365C以外の機種は、自動登録が可能です。

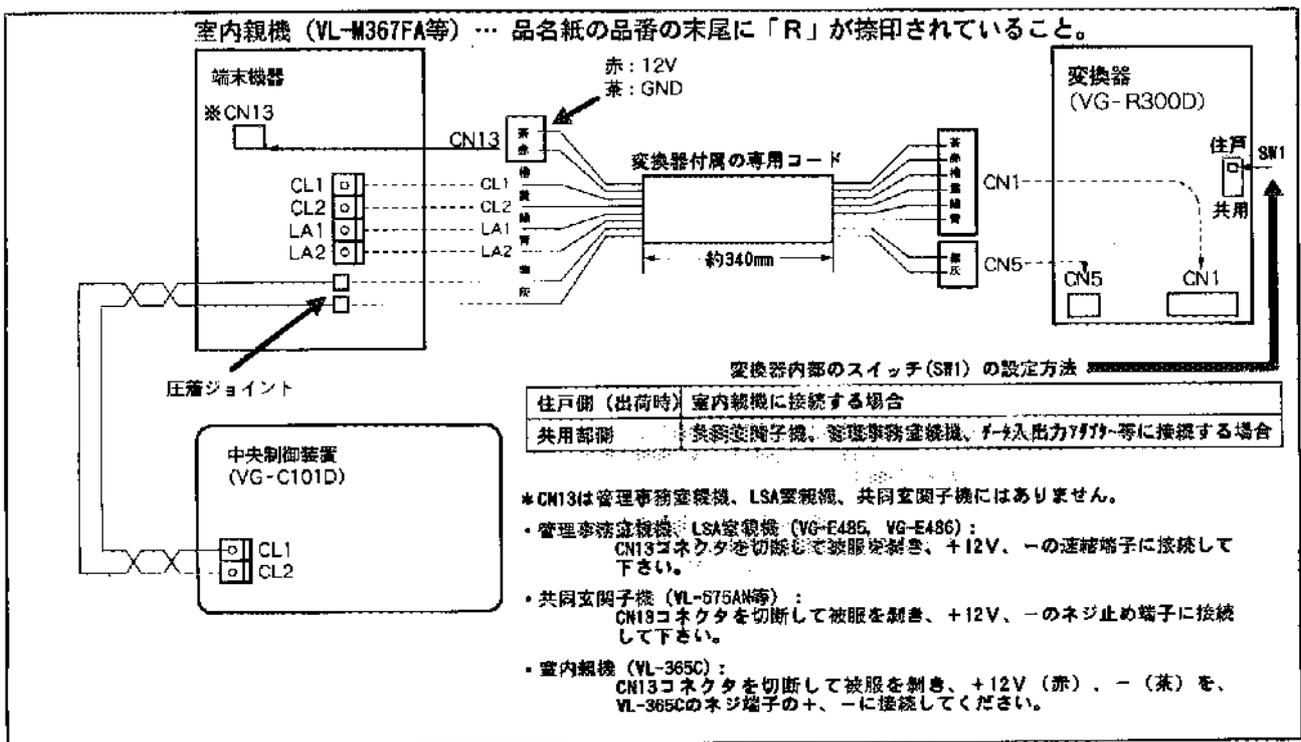
※ VL-365Cでは、フロア別に一斉放送ができません。

※ VL-365Cを用いる場合、他の室内親機は混在できません。

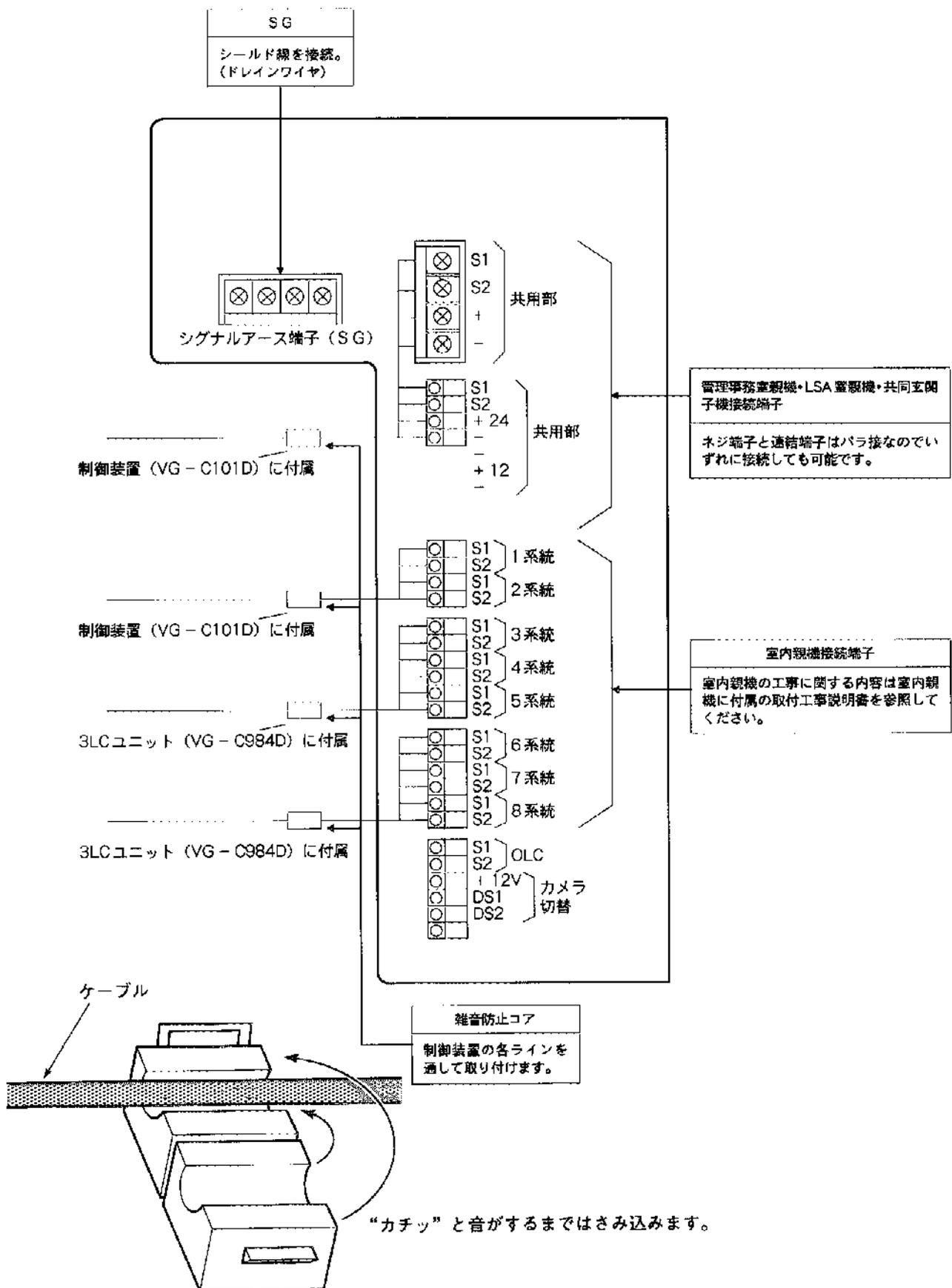
システム図 カメラなし (例)



端末機器との変換器の接続図 (例)



# 端子配置および雑音防止コアの取付方法

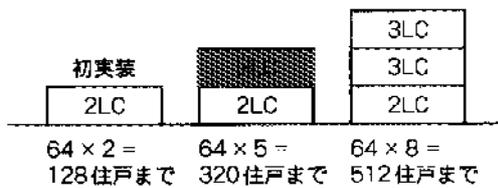


# 3LCユニット VG-C984D

## 1. 概要

3LCユニット（192住戸拡張）は初実装2LC（128住戸用）システムに対して、住戸数を拡張するためのユニットで、コネクタ組立に従って各ユニットとの接続を行ってください。（3LCユニットは最大2台接続（384住戸拡張）できます）

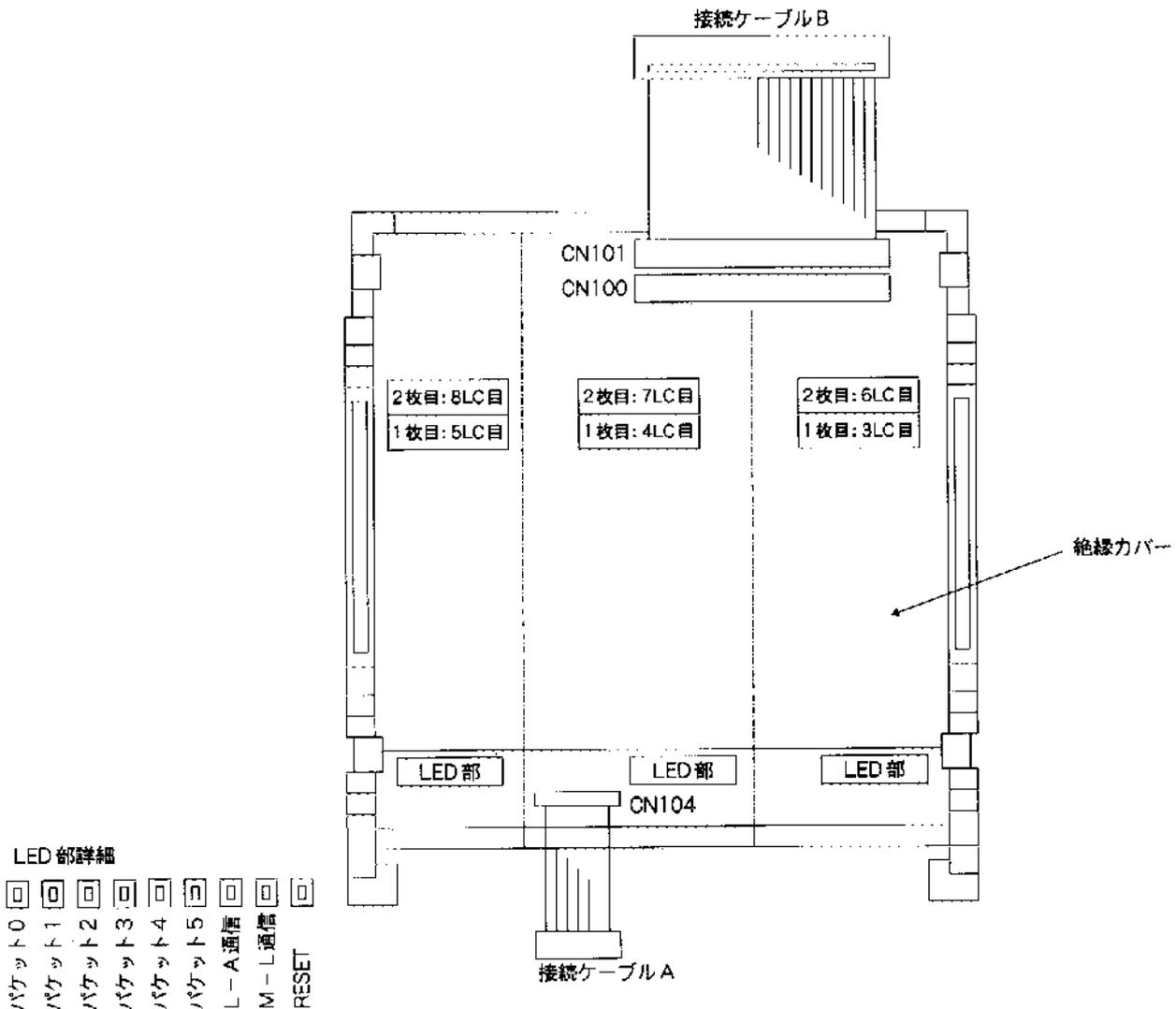
- お願い**
- ・作業時には、アースバンドをつける等、静電防止には十分な配慮をしてください。
  - ・プログラムの設定が必要です。プログラム表を参照願います。（プログラム番号 **13**～**18**）



	オプション
128住戸まで（初実装）	不要
129～320住戸まで	VG-C984D（3LCユニット）
321～512住戸まで	VG-C984D（3LCユニット）2台目

・共用部の台数分だけ接続住戸数は減ります。

## 2. 3LCユニットの外観

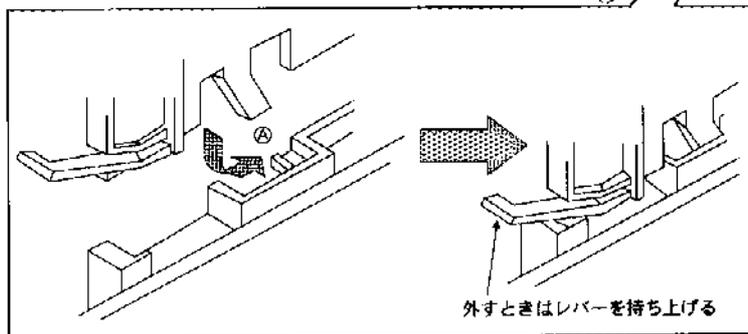
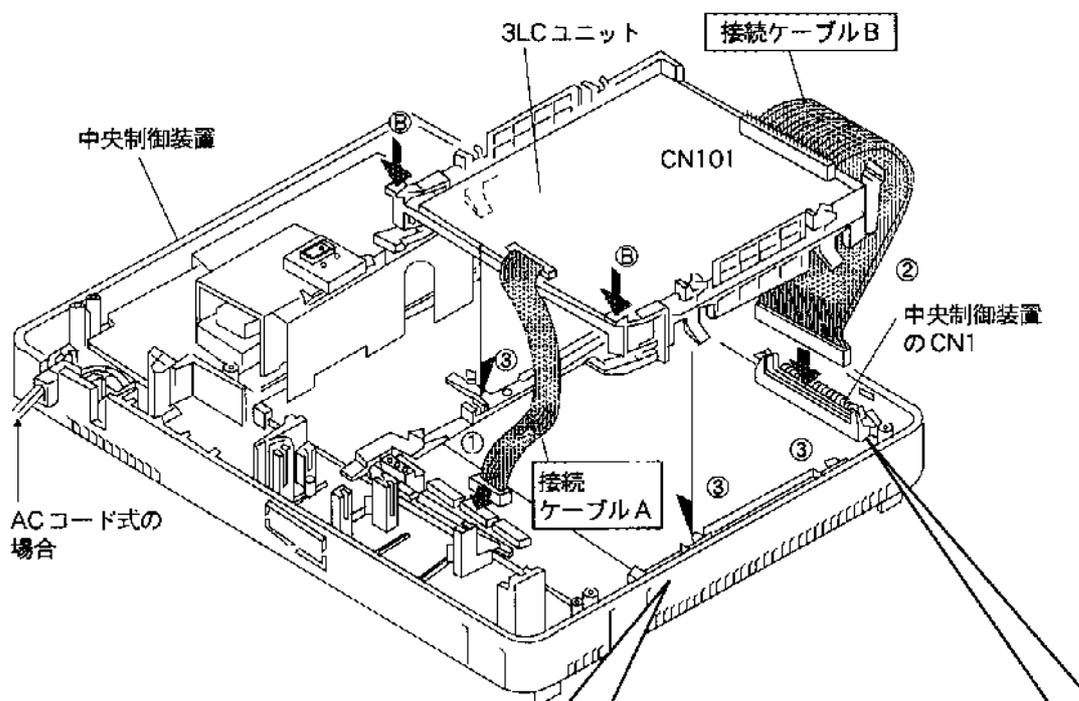


### 3. 3LCユニットの取付方法

取付ける前に、3LCユニットによく似た保護ケースをとりはずして下さい。

手順

- ① 3LCユニットからの接続ケーブルAを中央制御装置のLC5、LC4、LC3 (CN101) にしっかりと強く差し込みます。
- ② 3LCユニットからの接続ケーブルBを中央制御装置の中央制御装置のCN1 にしっかりと強く差し込みます。
- ③ 中央制御装置の取付溝に3LCユニットのA部を合わせ、ロックレバーにより固定されるまで（カチッと音がする）Bを押す。
- ④ さらに拡張するときには3LCユニットの上に3LCユニットを同様に重ねてください。この時接続ケーブルAは中央制御装置のLC8、LC7、LC6 (CN102) に、接続ケーブルBは下の3LCユニットのCN100にしっかりと強く差し込んで下さい。最大512台まで対応できます。
- ⑤ 接続ケーブルA、Bについては、下表を参照してください。



コネクタの接続手順 (CN1 (50P))	
①コネクタ受けの爪 (両方) を開ける (矢印方法に)	①  コネクタ受け CN1 (50P)
②本部屋の接続コネクタを強く確実に挿入する	②
③コネクタ受けの爪 (両方) を閉じる (矢印方法に)	③

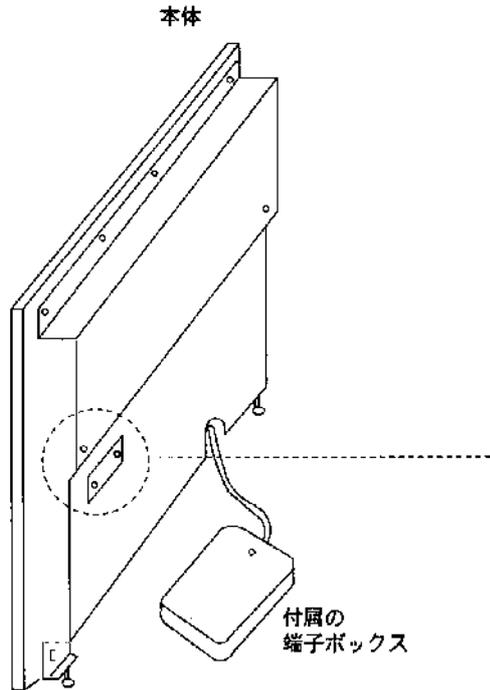
下表

システム	①~の	②~は	接続ケーブルA	接続ケーブルB	3LC	
					メイン	2LC ←初実装
VG - C984D	3LCユニット (上)	中央制御装置の LC8、LC7、LC6 (CN102) へ	3LCユニット (下) の CN100 へ			
	3LCユニット (下)	中央制御装置の LC5、LC4、LC3 (CN101) へ	中央制御装置の CN1 へ			
初実装	2LC					

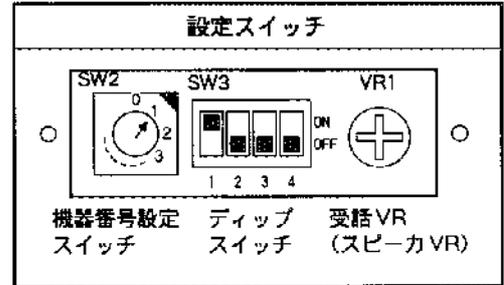
〔表の見方〕  
 ①3LCユニット (上) の②接続ケーブルAは中央制御装置のLC8、LC7、LC6 (CN102) へ接続します。  
 ※太枠内は接続先です。



## 共同玄関子機機器番号等の設定



●機器番号等の設定時はねじ（2ヶ所）をゆるめ、蓋板をはずします。



### ●設定スイッチの説明

名称	設定																				
<b>SW2</b> 機器番号設定スイッチ (機器番号の設定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同玄関子機は8台迄接続可能。 各共同玄関子機のSW2スイッチを設定してください。 <b>重複すると誤動作の原因となります。</b> 出荷時は“1”です。 (例) 1台目→1 2台目→2</li> <li>共同玄関子機を並列接続として2台接続時は、2台目を“2”と設定します。 (注1) 機器番号の変更時は必ず制御装置の電源を切って行ってください。 (読み込み動作が必要のため) (注2) 複数台設定するときは、必ず若番から順に、あいだを飛ばさずに設定してください。</li> </ul> 																				
<b>SW3</b> ディップスイッチ (●は出荷時)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="5">ディップスイッチ</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機能</td> <td>カメラ有・無 (テレビカメラ付 共同玄関子機は 必ず“有側”であること)</td> <td>電気錠解錠時 ・接点がメーク (a接点) ・接点がブレーク (b接点)</td> <td>管理人事務室親機 呼出し規制有・無 (共同玄関子機の ⓧボタンを押して 管理人事務室を 呼出し)</td> <td>未使用  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必ずOFF側で 使用してください。</div></td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td>ON: 有 OFF: 無</td> <td>ON: ブレーク OFF: メーク</td> <td>ON: 呼出不可 OFF: 呼出可</td> <td>ON: ON OFF: OFF</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) カメラ有・無の設定の出荷時設定は、カメラ付共同玄関子機は有、カメラ無共同玄関子機は無になっています。</p>	ディップスイッチ						1	2	3	4	機能	カメラ有・無 (テレビカメラ付 共同玄関子機は 必ず“有側”であること)	電気錠解錠時 ・接点がメーク (a接点) ・接点がブレーク (b接点)	管理人事務室親機 呼出し規制有・無 (共同玄関子機の ⓧボタンを押して 管理人事務室を 呼出し)	未使用  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必ずOFF側で 使用してください。</div>	設定	ON: 有 OFF: 無	ON: ブレーク OFF: メーク	ON: 呼出不可 OFF: 呼出可	ON: ON OFF: OFF
ディップスイッチ																					
	1	2	3	4																	
機能	カメラ有・無 (テレビカメラ付 共同玄関子機は 必ず“有側”であること)	電気錠解錠時 ・接点がメーク (a接点) ・接点がブレーク (b接点)	管理人事務室親機 呼出し規制有・無 (共同玄関子機の ⓧボタンを押して 管理人事務室を 呼出し)	未使用  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">必ずOFF側で 使用してください。</div>																	
設定	ON: 有 OFF: 無	ON: ブレーク OFF: メーク	ON: 呼出不可 OFF: 呼出可	ON: ON OFF: OFF																	
受話VR1	(注) 調整済ですので手を触れないでください。 ハウリング等が起こります。(ただし、メンテ等で調整をします。)																				

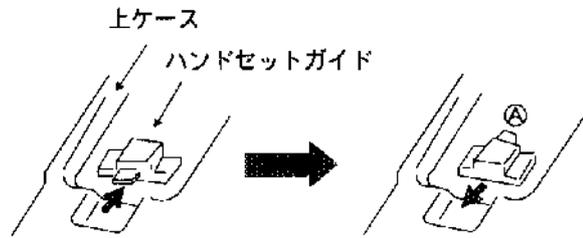
# 管理事務室親機 VG - E485・LSA室親機 VG - E486

## 1. 管理事務室親機・LSA室親機の取付方法

(1) 壁掛形にする場合  
(※出荷時は卓上形)

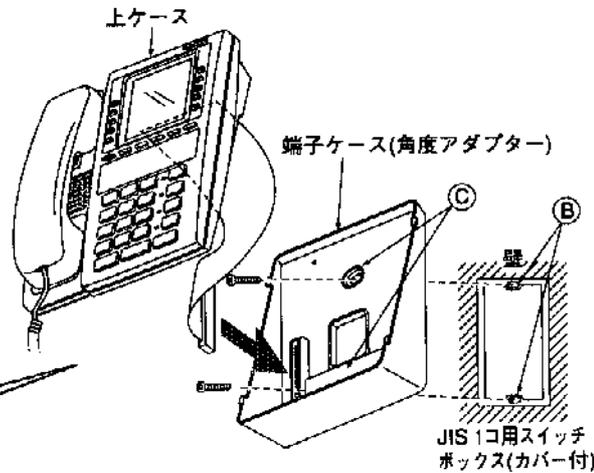
① ハンドセットガイドを差替える。

- 1) ハンドセットガイドを矢印の方向に抜き取る。
- 2) ハンドセットガイドを逆に【㉔部（ハンドセットひっかけ部）を上にし差し込む】



② 端子ケースを取付ける。

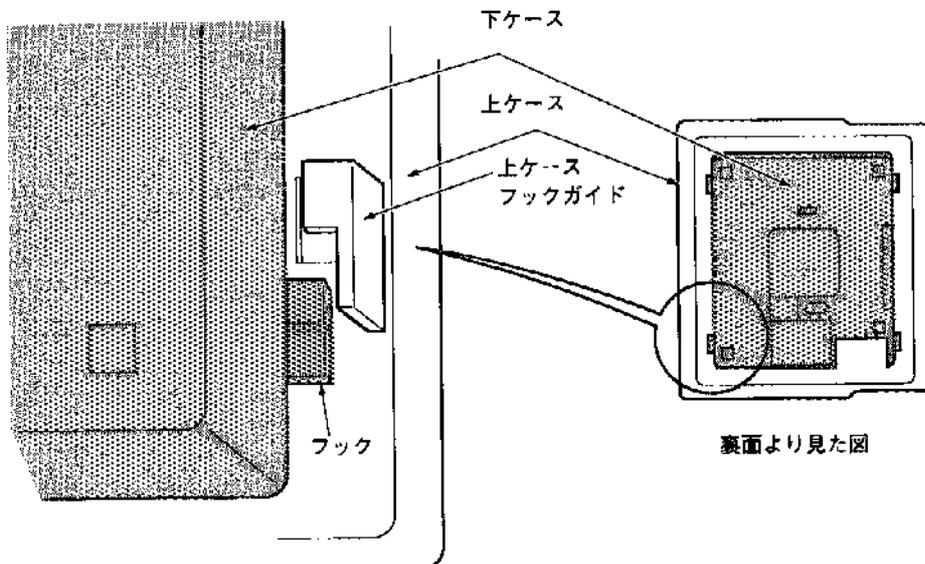
- 1) スイッチボックスが壁面より沈んで取り付いている場合、端子ケースの裏面の補強板 (1.6t) を貼り付けます。(次頁図参照)
- 2) JIS1コ用スイッチボックスに取付けの場合、㉕部に付属のネジ (2本) で取付ける。
- 3) 壁に直接取付けの場合、㉖部を付属の木ネジ (2本) で取付ける。

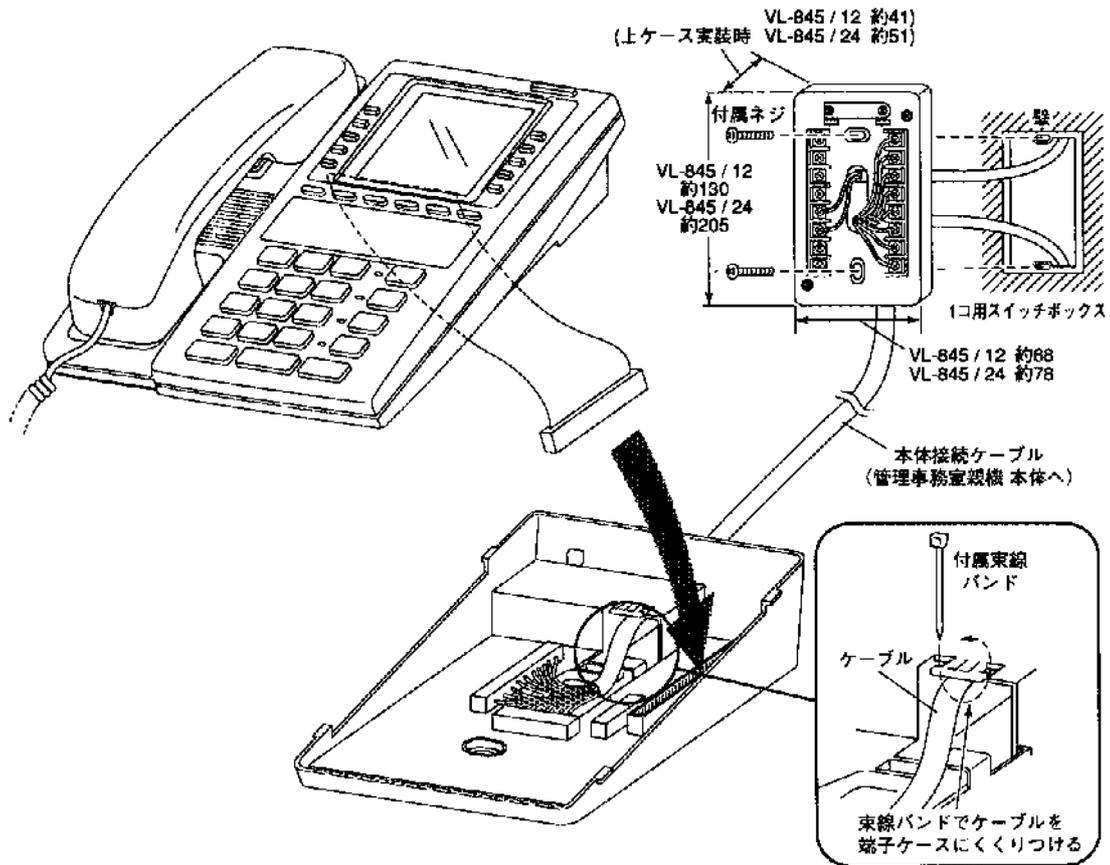


③ 上ケースを取付ける。

- 1) 上ケースのケーブルを下ケースのコネクター CN15 (50P) に差し込み「接続手順」に従って確実に接続してください。
- 2) 下ケースのフック (下図) 4ヶ所に上ケースのフックガイドを差し込みます。

コネクターの接続手順 [CN15 (50P)]	
①コネクター受けの爪 (両方) を開ける (矢印方法に)	①  コネクタ受け CN15 (50P)
②本館部の接続コネクターを強く確実に挿入する	②
③コネクター受けの爪 (両方) を閉じる (矢印方法に)	③





管理事務室  
親機/LSA直観  
機端子ケースに  
接続

VL-845/12		VL-225 -22B	VG-E485 486
端子 番号	線色	本体端子名称	
1	チャ	V+	CL1
2	アカ	E	CL2
3	ダイ	C	LA1
4	キ	D	LA2
5	ミド	A1	LB1
6	アオ	A2	LB2
7	ムラ	A3	+
8	ハイ	A4	-
9	シロ	A5	D1
10	ワカクサ	A6	D2
11	モモ	A7	接点1M
12	ソラ	A8	接点1C
13	チャ/クロ	A9	接点2M
14	アカ/クロ	A10	接点2C
15	ダイ/クロ	A11	接点3M
16	キ/クロ	A12	接点3C
品 番			
LOT NO.			
松下通信工業株式会社			

ケーブルに  
接続

管理事務室  
親機/LSA直観  
機端子ケースに  
接続

VL-845/24		VL-229	VG-E485 486
端子 番号	線色	本体端子名称	
1	チャ	V+	CL1
2	アカ	F	CL2
3	ダイ	C	LA1
4	キ	D	LA2
5	ミド	A1	LB1
6	アオ	A2	LB2
7	ムラ	A3	LC1
8	ハイ	A4	LC2
9	シロ	A5	+
10	ワカクサ	A6	-
11	モモ	A7	D1
12	ソラ	A8	D2
13	チャ/クロ	A9	接点1M
14	アカ/クロ	A10	接点1C
15	ダイ/クロ	A11	接点2M
16	キ/クロ	A12	接点2C
17	ミド/クロ	B1	接点3M
18	アオ/クロ	B2	接点3C
19	ムラ/クロ	B3	警停+
20	ハイ/クロ	B4	警停-
21	シロ/クロ	B5	警報消去+
22	ワカクサ	B6	警報消去-
23	モモ/クロ	B7	
24	ソラ/クロ	B8	
25	クロ/シロ	B9	
26	アカ/シロ	B10	
27	ミド/シロ	B11	
28	キ/シロ	B12	
品 番			
LOT NO.			
松下通信工業株式会社			

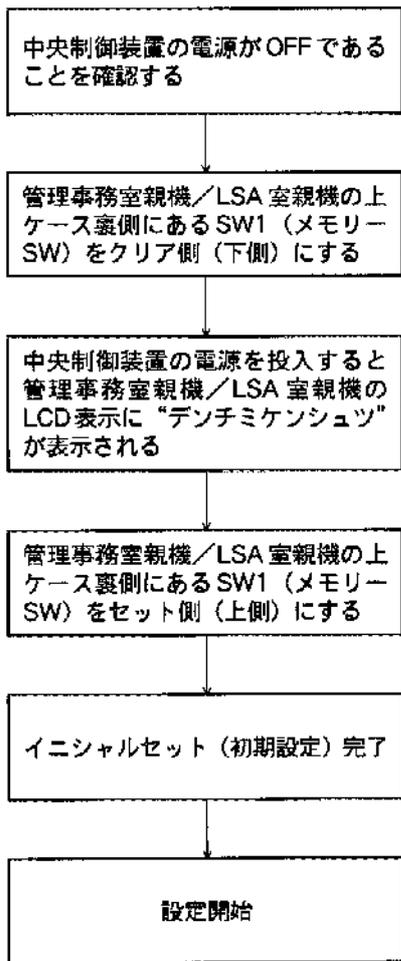
ケーブルに  
接続

空き  
(使用可)

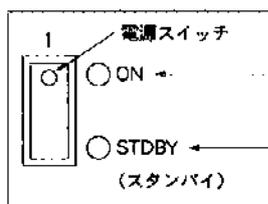


(1) イニシャルセット（初期設定）の方法……出荷状態（初期値）

- ①設定メニュー登録済みまたは、登録途中でこのイニシャルセットを実行すると登録した内容は全て消え、イニシャル状態（工場出荷状態になります。）
- ②初めての設定または動作をさせる場合にはこの手順を行ってください。管理事務室親機/LSA室親機が動作しません。  
(親機番号も登録されていないので必ず登録してください)



<中央制御装置の電源スイッチ部>

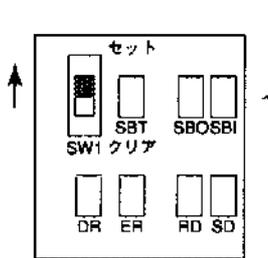


(※) STD BY (スタンバイ) 赤ランプは点灯時、AC100V電源が中央制御装置に供給されている。

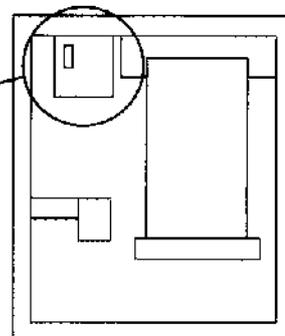
	電源スイッチ	
	OFF	ON
ON 緑ランプ	消灯	(緑) 点灯
(※) STD BY (スタンバイ) 赤ランプ	(赤) 点灯	(赤) 点灯
中央制御装置の動作状態	<b>動作時</b>	<b>動作中</b>

メモリースイッチの設定

内部メモリーのバックアップスイッチを“セット”側にします。  
(管理事務室親機/LSA室親機の設定内容は機器内のメモリーに記憶されません。この記憶されたメモリーは電池でバックアップされます。)



SW1を“セット”側(上側)にする



管理事務室親機/LSA室親機  
上ケース裏側



1回目の電源投入では工事設定メニューが初期画面として立ち上がります。  
2回目以降の電源投入では動作可能状態で立ち上がります。この場合は、LCD表示に“ケイホウナシ”の表示中にオフフックで“メニュー”キーを3秒以上押下すると工事設定メニューが表示されます。  
(電源投入後にメモリースイッチを切り替えても可)

(2) 設定内容の一部変更・設定内容の確認方法

LCD表示に“ケイホウナシ”の表示中にオフフックし“メニュー”キーを3秒以上押下すると工事設定メニューが表示されます。

①工事設定メニュー

工事設定メニュー一覧

No.	設定項目	出荷時 設定	設定値 記入	入力値	特記事項
1	親機番号	0		1~8	管理事務室親機/LSA室親機番号1~8
2	カメラ	0		0/1	カメラ付き玄関子機(1:有)
3	放送ドア移報	0		0/1	緊急放送時ドアホンからも出力(1:出力)
4	警報音種別	1		0/1	0:擬音(トウイーンのみ)、1:擬音(各種)+音声合成
5	警報自動停止	0		0/1	自動停止(1:有)
6-1	RS232C接続	0		0,1~3	1:プリンタ、2:通報機、3:ACK/NAK接続
6-2	RS232Cスピード	4		1~4	1:1200、2:2400、3:4800、4:9600dps
6-3	RS232Cセキュリティ	1		0/1	セキュリティ情報(0:出力無、1:出力)
6-4	RS232C在/不在	0			在/不在(0:出力無、1:出力)
6-5	RS232C着信	0			着信情報(0:出力無、1:出力)
7-1	表示メモリ火災	1		0/1 0:表示 メモリ なし 1:表示 メモリ あり	火災:火災
7-2	表示メモリ火災確認	1			火災:火災確認
7-3	表示メモリガス	1			ガス:ガス漏れ
7-4	表示メモリ換気	1			換気:空気汚れ
7-5	表示メモリ非常	1			非常:非常
7-6	表示メモリ防犯	1			防犯:防犯1、2
7-7	表示メモリ水漏れ	1			水漏れ:水漏れ
7-8	表示メモリ緊急	1			緊急:バス、トイレ、、緊急コール、ペンダントコール
7-9	表示メモリ生活	1			生活:生活異常
7-10	表示メモリ生活T	1			生活T:生活異常トイレ
7-11	表示メモリ機器	1			機器:生活監視ユニット異常、ペンダント電池切れ
7-12	表示メモリ断線	1			断線:火災断線、ガス断線
7-13	表示メモリ予備	1			未使用
8-1	接点移報火災	1		0,1~6 (0で クリア) 4~6は オプション	火災移報接点出力を指定(1~6)最大6指定可
8-2	接点移報ガス	2			ガス移報接点出力を指定(1~6)最大6指定可
8-3	接点移報換気	-			換気移報接点出力を指定(1~6)最大6指定可
8-4	接点移報非常	3			非常移報接点出力を指定(1~6)最大6指定可
8-5	接点移報防犯	-			防犯移報接点出力を指定(1~6)最大6指定可
8-6	接点移報水漏れ	-			水漏れ移報接点出力を指定(1~6)最大6指定可
8-7	接点移報緊急	-			緊急移報接点出力を指定(1~6)最大6指定可
8-8	接点移報生活	-			緊急移報接点出力を指定(1~6)最大6指定可(LSA室親機のみ)
8-9	接点移報生活T	-			生活移報接点出力を指定(1~6)最大6指定可(LSA室親機のみ)
8-10	接点移報機器	-			生活トイレ移報接点出力を指定(1~6)最大6指定可(LSA室親機のみ)
8-11	接点移報断線	-			断線移報接点出力を指定(1~6)(火災断、ガス断)最大6指定可
8-12	接点移報予備	-			予備移報接点出力を指定(1~6)最大6指定可(LSA室親機のみ)
9	表示位置設定	未設定		-	状態表示ユニット表示位置設定(LSA室親機のみ)

②工事設定メニュー詳細

番号	設定項目	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
1	管理事務室親機/ LSA室親機番号	管理事務室親機の機器番号を設定します。1～8まで設定可能で、番番より登録します。 (LSA室親機と管理事務室親機に同じ親機番号を割り振ることはできません)	0: 機器番号無し	1～8	
2	カメラ	カメラ付き玄関子機の有無を設定します。	0: 無し	1: 有り	
3	放送ドア移報	緊急放送の音声を玄関子機から送出するかしないかを設定します。	0: 無し	1: 有り	
4	警報音種別	各警報音を各擬音+音声(部屋番号+警報内容)で鳴動させるか、擬音『トゥーン』のみにするかを設定します。	1: 擬音+音声	0: 擬音『トゥーン』のみ	
5	警報自動停止	管理事務室親機/LSA室親機の警報音鳴動から5分以上停止操作が行われない場合、自動的に警報音を停止させるか、させないかを設定します。	0: 自動停止無し	1: 自動停止有り	
6-1	R S I 2 3 2 C	接続	RS-232Cの通信方式の設定で、プリンタ・通報機・ACK/NAK接続のいずれかを選択します。(RS-232Cを未使用の場合はいずれでも可)	1: プリンタ	2: 通報機 3: ACK/NAK接続
6-2		スピード	RS-232Cの通信の通信スピードを設定します。	4: 9600bps	1: 1200bps 2: 2400bps 3: 4800bps
6-3		セキュリティ	RS-232Cからセキュリティ情報を出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し
6-4		在/不在	RS-232Cから在/不在情報を出力させるか、させないかを設定します。	0: 出力無し	1: 出力有り
6-5		着信	RS-232Cから管理事務室親機/LSA室親機の着信情報を出力させるか、させないかを設定します。	0: 出力無し	1: 出力有り
7-1	表 示 メ モ リ	火災	火災警報の通知を管理事務室親機/LSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し
7-2		火災確認	火災確認警報の通知を管理事務室親機/LSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し
7-3		ガス	ガス漏れ警報の通知を管理事務室親機/LSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し
7-4		換気	不完全燃焼警報の通知を管理事務室親機/LSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し
7-5		非常	非常警報の通知を管理事務室親機/LSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し
7-6		防犯	防犯警報の通知を管理事務室親機/LSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し

番号	設定項目	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
7-7	水漏れ	水漏れ警報の通知を管理事務室親機/LSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し	
7-8	緊急	緊急・バスコール・トイレコール警報の通知を管理事務室親機/LSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し	
7-9	生活 (LSA親機のみ対応)	生活異常警報の通知をLSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し	
7-10	生活T (LSA親機のみ対応)	生活異常 (トイレ) 警報の通知をLSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し	
7-11	機器 (LSA親機のみ対応)	機器異常 (生活異常監視ユニットの故障・ペンダントコールの電池切れ) 警報の通知をLSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し	
7-12	断線	火災感知器及びガス漏れ検知器の断線警報の通知を管理事務室親機/LSA室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1: 出力有り	0: 出力無し	
7-13	予備	未使用	1:	0:	
8-1	火災	火災警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	1: 接点1	2: 接点2 3: 接点3 4: 接点4 5: 接点5 6: 接点6	
8-2	ガス	ガス漏れ警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	2: 接点2	1: 接点1 3: 接点3 4: 接点4 5: 接点5 6: 接点6	
8-3	換気	不完全燃焼警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	設定無し	1: 接点1 2: 接点2 3: 接点3 4: 接点4 5: 接点5 6: 接点6	
8-4	非常	非常警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	3: 接点3	1: 接点1 2: 接点2 4: 接点4 5: 接点5 6: 接点6	
8-5	防犯	防犯警報をどの接点に出力するか設定します。 (防犯1、2を含む) ※1	設定無し	1: 接点1 2: 接点2 3: 接点3 4: 接点4 5: 接点5 6: 接点6	

番号	設定項目	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄	
8-6	水漏れ	水漏れ警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	設定無し	1: 接点1 2: 接点2 3: 接点3 4: 接点4 5: 接点5 6: 接点6		
8-7	緊急	緊急・トイレコール・バスコール警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	設定無し	1: 接点1 2: 接点2 3: 接点3 4: 接点4 5: 接点5 6: 接点6		
8-8	接 点	生活 (LSA 親機のみ対応)	生活異常警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	設定無し	1: 接点1 2: 接点2 3: 接点3 4: 接点4 5: 接点5 6: 接点6	
8-9		生活T (LSA 親機のみ対応)	生活異常 (トイレ) 警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	設定無し	1: 接点1 2: 接点2 3: 接点3 4: 接点4 5: 接点5 6: 接点6	
8-10		機器 (LSA 親機のみ対応)	機器異常 (生活異常監視ユニットの故障・ペンダントコールの電池切れ) 警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	設定無し	1: 接点1 2: 接点2 3: 接点3 4: 接点4 5: 接点5 6: 接点6	
8-11	断線	火災感知器及びガス漏れ検知器の断線警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	設定無し	1: 接点1 2: 接点2 3: 接点3 4: 接点4 5: 接点5 6: 接点6		
8-12	予備	未使用	設定無し			
9	表示位置設定 (LSA 親機のみ対応)	状態表示ユニットの表示位置設定。 (詳細はLSA室親機の取り扱い説明書を参照してください)	設定無し			

※1 接点出力には各警報を1つまたは複数(最大6カ所)の接点に割り振り、1つの接点に複数の警報を割り当てる事も可能。(但し、接点1~3までが標準で、接点4~6はオプションです。)また、移報接点は管理事務室親機の復旧動作に連動して復旧します。

### (3) 音量、およびLCDコントラスト設定手順

#### ①スピーカ音量の設定

通話中以外のオンフック中に音量キー押下でスピーカ音量が変化します。この時、着信音が鳴動しスピーカ音量が変化したことを知らせます。(スピーカ音量は4段階切替で初期状態は下から2番目になっています。また、スピーカ音量を変化させるとその音量は記憶され次回以降は変更されたスピーカ音量で鳴動します。)

#### ②受話音量の設定

通話中に音量キー押下で受話音量が変化します。(受話音量は4段階切替で初期状態は下から2番目になっています。また、受話音量を変化させるとその音量は記憶され次回以降は変更された受話音量になります。)

#### ③LCDコントラストの設定

オンフック中に $\sim$ 押下後音量キー押下でLCDのコントラストを変更できます。(LCDコントラスト設定モードは他のキー入力、通話、またはタイムアウト(10秒)により、設定モードを抜けます。)

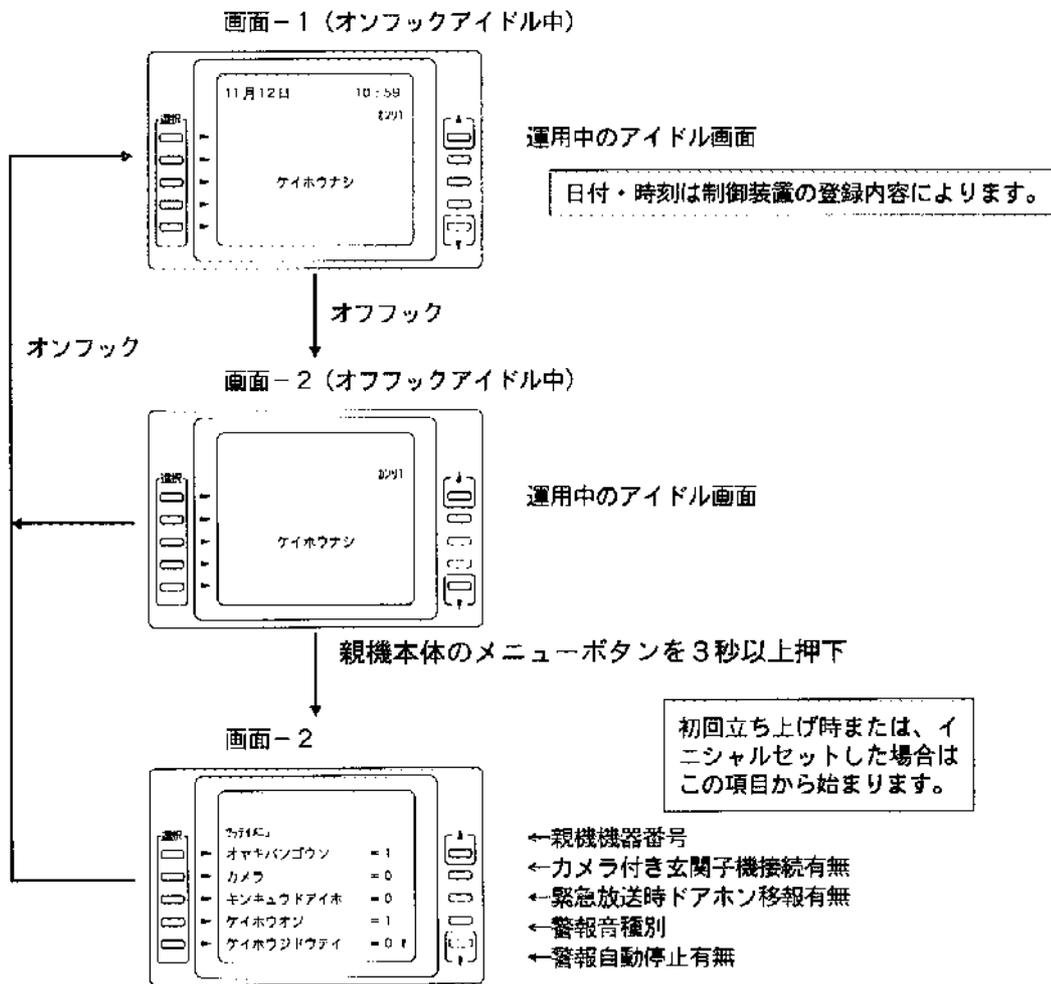
動作設定一覧

設定項目	出荷時設定	特記事項
ミュート	OFF	ミュートON(ミュートLED点灯)で警報音ミュート ※1
スピーカ音量	初期値	通話中以外の音量キーで変更(初期値2/4)
受話音量	初期値	通話中の音量キー操作で更新(初期値2/4)
LCDコントラスト	初期値	オンフック中 $\sim$ 押下後の音量キーで変更(初期値8/15)

※1 着信音はミュートされません

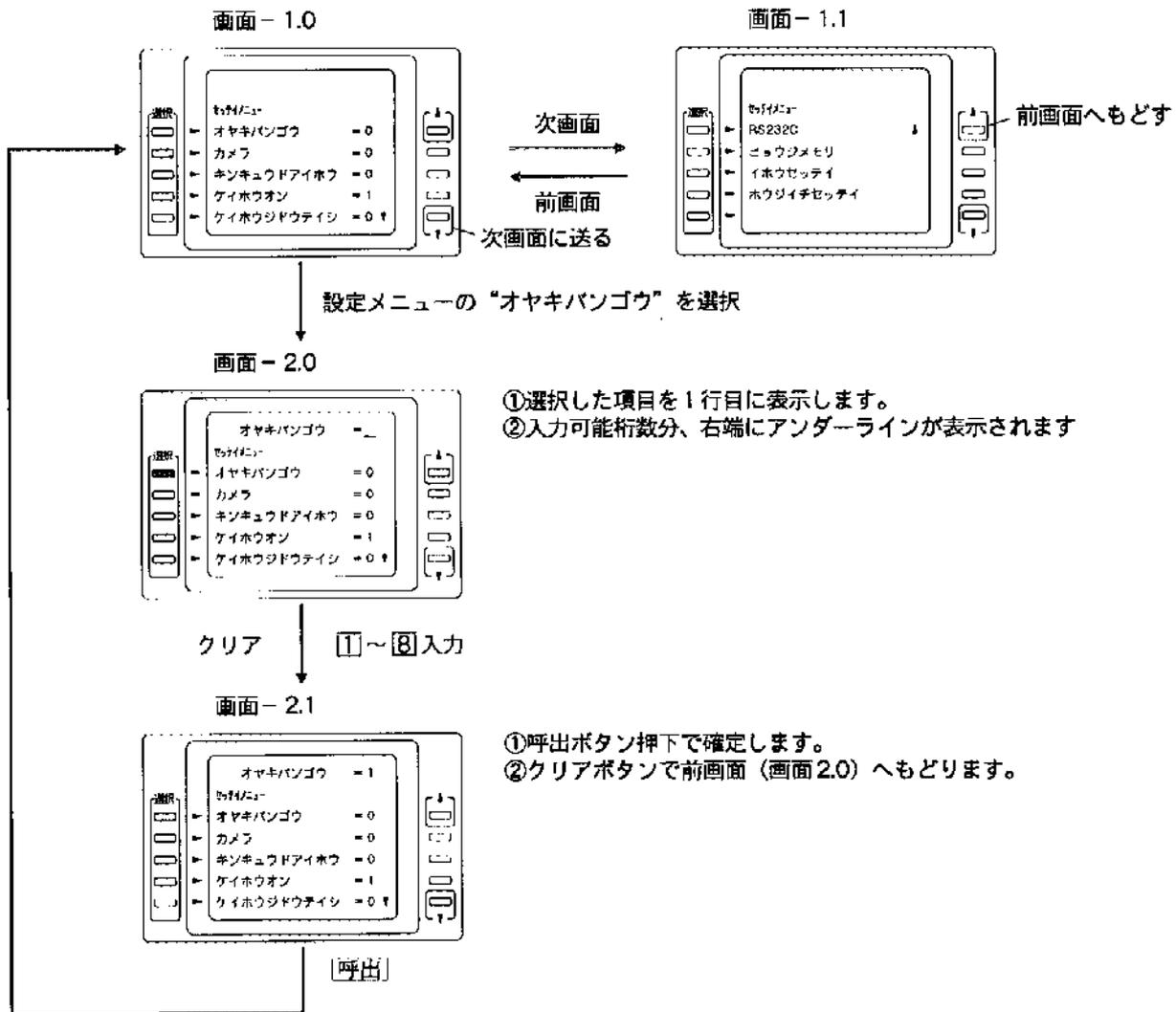
(4) 設定メニュー操作仕様

(4-1) 工事設定メニュー呼出操作



- ① LCD1 行目は設定項目ガイダンス表示及び入力用です。
- ② LCD2 行目は状態を表示「セッテイメニュー」を表示します。
- ③ メニュー項目の左側へは番号入力できません。
- ④ メニュー項目の右側に現在の設定値が表示されます。
- ⑤ メニュー項目の選択はLCD左側の選択ボタンにより行います。
- ⑥ メニュー項目の改ページはLCD右側の改ページキーにより行います。  
(改ページが可能な画面ではLCDの右側に“▲”“▼”が表示されます)
- ⑦ 設定値に規定値以外の数値を入力しても入力を受け付けません。(設定値は変化しません)

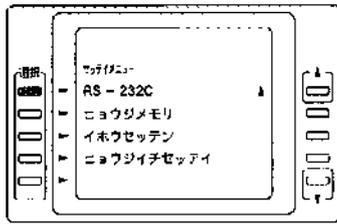
(4-2) 管理事務室親機/LSA室親機の機器番号設定メニュー



- オフフック中は時刻表示部（1行目）を表示しません。
  - 呼出を押下する前にオンフックした場合は設定変更されないでアイドル画面（画面-1）へもどります。
- ※カメラ・キンキュウドアイホウ・ケイホウオン・ケイホウジドウテイシの設定も上記と同様に設定します。

(4-3) RS-232C 設定

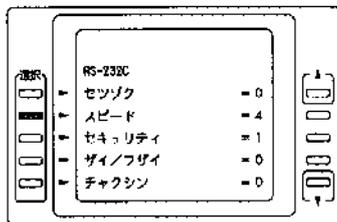
画面-1.1



①設定可能項目一覧を表示

設定メニューRS232Cを選択

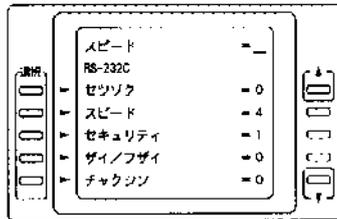
画面-3.0



①RS-232C設定可能項目一覧を表示します。  
②設定する項目を選択します。

設定項目を選択（「スピード」を選択した場合）

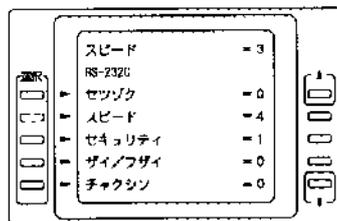
画面-3.1



①設定項目と入力可能桁数分アンダーラインを1行目に表示します。  
②設定値を入力します。

設定値入力（「3」（4800bps）を選択した場合）

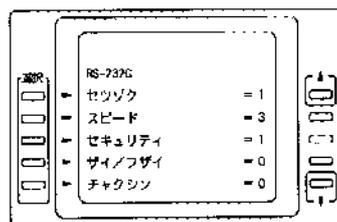
画面-3.2



①呼出キーで確定します。  
(設定値入力後、確定前にクリアボタン押下で再入力可能です)

呼出

画面-3.3

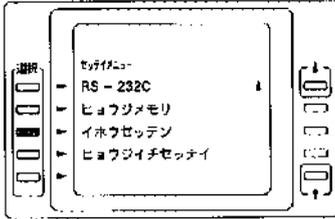


①継続して他の項目を設定可能です。  
②クリアキーで前画面（画面1.0）へもどります。

#### (4-4) 移報接点設定

警報種別ごとに移報出力する接点を設定します。

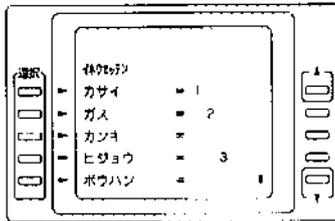
画面-1.1



①設定可能項目一覧を表示します。

設定メニューのイホウセッテイを選択

画面-4.0

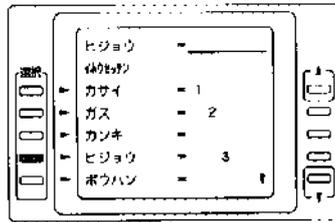


①移報接点設定項目一覧を表示します。  
②設定する項目を選択します。

接点出力状態  
 接点1：火災  
 接点2：ガス  
 接点3：非常  
 (イニシャル設定値)

設定項目を選択

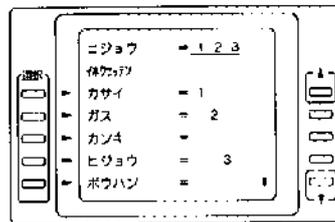
画面-4.1



①設定項目と入力可能桁数分アンダーラインを1行目に表示します。  
②設定値を入力します。  
(例の場合“1”“2”“3”キーを順に押下)

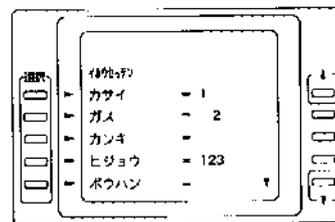
設定値入力

画面-4.2



①呼出キーで確定します。  
(設定値入力後、確定前にクリアボタン押下で再入力可能です)  
(何も入力しないでクリアボタン押下で4.0の画面にもどります)

画面-4.3



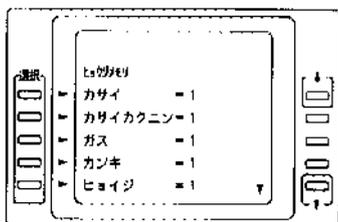
①継続して他の項目を設定可能です。  
②クリアキーで前画面(画面1.0)へもどります。

接点出力状態  
 接点1：火災・非常  
 接点2：ガス・非常  
 接点3：非常

#### (4-5) 表示メモリ

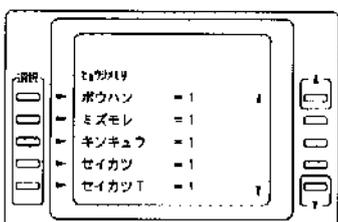
警報表示する項目を設定します。表示メモリをON (1) にする事で該当項目に対して本体移報及びRS-232C出力を行います。

画面-5.0

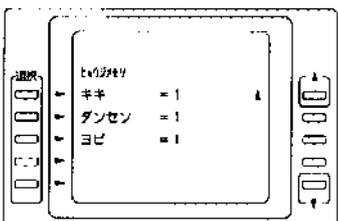


①設定可能項目一覧を表示します。

画面-5.1



画面-5.2



警報表示出力状態  
すべて出力になっています。  
(イニシャル設定値)

# 変換器 VG-R300D

お願い：内部にSW1設定スイッチあり住戸部又は共用部により設定してください。

※変換器のLEDの動作については別紙を参照して下さい。

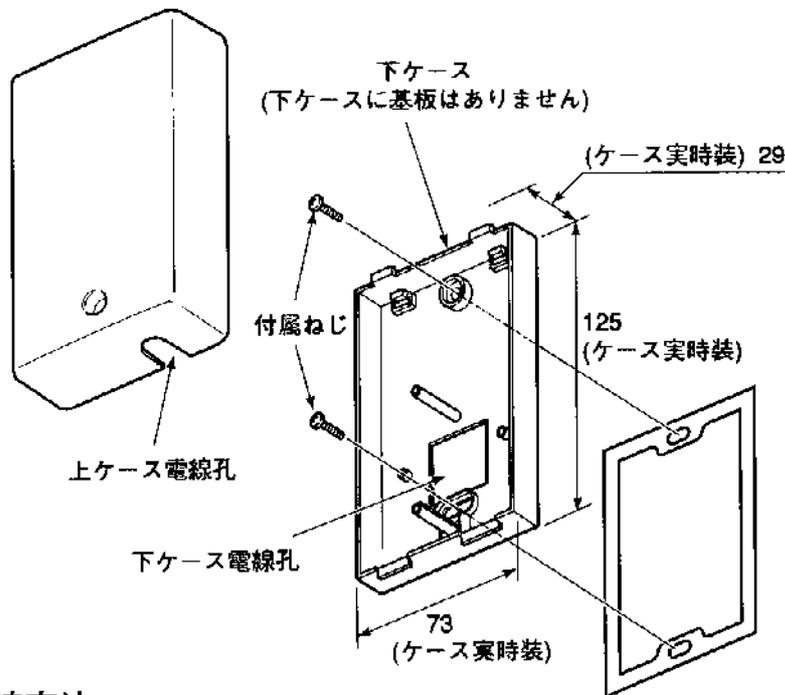
## 1. 取付方法

### ① JIS1コ用スイッチボックスに取付の場合

- 1) 付属ネジで下ケースを1コ用スイッチボックスに取り付ける。(図参照)
- 2) ケーブルを下ケース電線用孔より入線、基板に接続する。
- 3) 上ケースを下ケースにねじ止め固定する。

### ② 壁(柱)に直接取付の場合

- 1) 下ケースを壁に取り付ける。
- 2) 上ケース電線孔の目かかしシールをはがす。
- 3) ケーブルをケーブル固定部を通して、基板に接続する。
- 4) 上ケース電線用孔よりケーブルを出して上ケースを下ケースにねじ止め固定する。



## 2. 変換器の接続方法

付属コードの取付方法

線色	信号名	接続先
紫	S1	中央制御装置のS1へ
灰	S2	中央制御装置のS2へ
橙	CL1	端末機器のCL1へ
黄	CL2	端末機器のCL2へ
緑	LA1	端末機器のLA1へ
青	LA2	端末機器のLA2へ
赤	+12V	室内親機のCN13へ 共用部の場合はコネクタを切って被覆をはがした後ねじ止め端子が通結端子へ
茶	GND	

先が2Pクネクタになっています

SW1の設定方法	
住戸	室内親機に接続する場合
共用部	管理事務室親機 共同玄関子機 データ入出力アダプタ 等に接続する場合

## ■プログラム番号一覧

一覧表上の印の意味は以下の通りである

☆印：管理事務室親機（LSA 室親機）のダイヤルにより設定可能な項目

★印：管理事務室親機（LSA 室親機）の「メニュー」ボタンにより設定可能な項目

☆または★印のないプログラムは中央制御装置で設定します。

▲印：VG-M369FA以降の機種に有効

プログラム番号	設定内容	初期値	備 考
☆ 01	通話路の設定	【111】通話路 1,2,3	通話路1・通話路2・通話路3の3桁設定【1】有
☆ 02	一斉放送有り/無し	【0】無し	【1】一斉有り【2】一斉、フロア一斉有り
☆ 03	警報音停止有り/無し	【0】無し	【1】有り（除火災、ガス、非常）
04	共同玄関接続台数	【1】1台	最大8台
05	管理事務室親機接続台数	【1】1台	最大8台
06		【0】	設定しないでください
☆ 07	住戸からの管理事務室呼出し規制有り/無し	【0】無し	【1】有り
☆ 08	管理事務室親機からの通信異常出力有り/無し	【0】無し	【1】有り
☆ 09	セキュリティ解錠有り/無し	【0】無し	【0】無し、【1】火災、【2】ガス、【3】火災ガス
☆ 10	ワンタッチ解錠有り/無し	【0】無し	【1】有り
11	LC1 が管理する棟番号	【00】	【00】全棟指定
12	LC2 "	【00】	【01~98】棟指定
13	LC3 "	未実装	【スペース】未実装
14	LC4 "	未実装	
15	LC5 "	未実装	
16	LC6 "	未実装	
17	LC7 "	未実装	
18	LC8 "	未実装	
21	共同玄関1 棟番号	【00】全棟指定	【00】全棟指定
22	" 2 "	【00】全棟指定	【01~98】棟指定
23	" 3 "	【00】全棟指定	【スペース】未設定
24	" 4 "	【00】全棟指定	全棟または1つの棟を指定
25	" 5 "	【00】全棟指定	
26	" 6 "	【00】全棟指定	
27	" 7 "	【00】全棟指定	
28	" 8 "	【00】全棟指定	
☆ 30	管理事務室親機グループ着信有り/無し	【0】無し	【1】有り：グループ着信設定時、不在転送機能は無効。
31	管理事務室親機1の棟番号	【00】全棟指定	【00】全棟指定
32	" 2 "	【00】全棟指定	【01~98】棟指定
33	" 3 "	【00】全棟指定	【スペース】未設定
34	" 4 "	【00】全棟指定	全棟または1つのアドレスに8つまでの棟を指定可能
35	" 5 "	【00】全棟指定	

※特に指定のない場合、管理事務室親機にはLSA 室親機も含まれます。

注1) 室内親機がVL-365Cの場合は、フロア別に一斉放送はできません。

### お願い

- (1) 住戸番号 は、本説明書の 住戸番号表の作成 および 住戸番号表 に記入して管理して下さい。  
室内親機の種類によりプログラム番号100を設定します。

室内親機の種類	プログラム番号100の設定	プログラムボードによる住戸番号設定
住戸番号の 自動登録タイプ： VL-M366FA、VG-M369FA、VL-M366LX VG-M367FA、VJ-M368FA、VG-M371FA VG-J372FA、VG-M373A、VL-M367LMA	0（不可）出荷時	不要
上記以外のタイプ： VL-365C	1（可）	必要

- (2) 同梱の工事説明書と本説明書は、仕様の変更（プログラム変更登録）および経歴、各種検査、定期点検、増改築工事等の際に必要な為、中央制御装置の近くに保管願います。

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
36	管理事務室親機6の棟番号	【00】全棟指定	
37	" 7 "	【00】全棟指定	
38	" 8 "	【00】全棟指定	
☆ 40	暗証番号2の種別	【0】住戸用	【1】業者用 *1
☆☆ 41	共同玄関1電気錠暗証番号	未設定	1 - 【0000~9999】暗証番号1
☆☆ 42	" 2 "	未設定	2 - 【0000~9999】暗証番号2
☆☆ 43	" 3 "	未設定	スペースは未設定
☆☆ 44	" 4 "	未設定	
☆☆ 45	" 5 "	未設定	
☆☆ 46	" 6 "	未設定	
☆☆ 47	" 7 "	未設定	
☆☆ 48	" 8 "	未設定	
50 (LSA室親機のみ)	全住戸解錠	【0】一斉解錠	【1】全住戸順次解錠 【2】全住戸解錠禁止(個別解錠可) 【3】住戸解錠禁止(個別解錠含む)
☆☆ 51	共同玄関1解錠時刻	未設定	1 - 【0:00~23:59】解錠時刻1 (住戸用)
☆☆ 52	" 2 "	未設定	暗証番号2の有効時間1(業者用)
☆☆ 53	" 3 "	未設定	2 - 【0:00~23:59】解錠時刻2 (住戸用)
☆☆ 54	" 4 "	未設定	暗証番号2の有効時間2(業者用)
☆☆ 55	" 5 "	未設定	備考)住戸用、業者用はプログラム 番号40で指定する
☆☆ 56	" 6 "	未設定	
☆☆ 57	" 7 "	未設定	
☆☆ 58	" 8 "	未設定	
☆☆ 60	年月日設定	【000101】	
☆☆ 61	時分秒設定	【000000】	
☆ 64	共用部通話最大時間	【03】	01~10分(分単位)
☆ 65	住戸間通話最大時間	【01】	01~10分(分単位)
66	ガス断発報有・無登録	【1】有り	【0】無し
67		【03】	設定しないで下さい。
☆☆ 68	報知警報音鳴動時刻	【0700 - 1900】	
★ 69 (LSA室親機のみ)	水未使用カウント停止時間帯	未設定	0000~2359(停止~開始)
☆ 71	共同玄関1解錠時間	【15】	【01~60】単位:秒
☆ 72	" 2 "	【15】	
☆ 73	" 3 "	【15】	
☆ 74	" 4 "	【15】	
☆ 75	" 5 "	【15】	
☆ 76	" 6 "	【15】	
☆ 77	" 7 "	【15】	
☆ 78	" 8 "	【15】	
80		【0】	設定しないでください
81		【00】	
82		【00】	設定しないでください
83		【00】	
84		【00】	
85		【00】	
86		【00】	
87		【00】	
88		【00】	
92	各種アダプタ接続台数	【0】無	最大8台
93	一斉放送の音量調整	【2】大	【1】中、【0】小

\*1:住戸用【0】に設定するとプログラム番号51~58の解錠時間帯で解錠状態になり、業者用【1】に設定するとプログラム番号51~58の解錠時間帯で解錠状態にならず、業者用の暗証番号(暗証番号2)でプログラム番号51~58の解錠時間帯に限り解錠可能。

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
100	設定ボードからの設定許可	0	【0】設定禁止【1】設定許可
101~164	LC1に接続されている室内親機の住戸番号の設定	未設定	LC1-1~LC1-64
201~264	LC2に接続されている室内親機の住戸番号の設定	未設定	LC2-1~LC2-64
301~364	LC3に接続されている室内親機の住戸番号の設定	未設定	LC3-1~LC3-64
401~464	LC4に接続されている室内親機の住戸番号の設定	未設定	LC4-1~LC4-64
501~564	LC5に接続されている室内親機の住戸番号の設定	未設定	LC5-1~LC5-64
601~664	LC6に接続されている室内親機の住戸番号の設定	未設定	LC6-1~LC6-64
701~764	LC7に接続されている室内親機の住戸番号の設定	未設定	LC7-1~LC7-64
801~864	LC8に接続されている室内親機の住戸番号の設定	未設定	LC8-1~LC8-64
101~864 の内容	【0101~9999】住戸アドレス(0000~0100)は、登録しないで下さい。 【1~4】セキュリティ設定パターン 初期値は1		

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
900~913	住戸セキュリティ設定	下記参照	設定パターン1
920~933	住戸セキュリティ設定		設定パターン2
940~953	住戸セキュリティ設定		設定パターン3
960~973	住戸セキュリティ設定		設定パターン4
9×0	防犯玄関子機警報の有/無	【0】無	【1】有(移報遅延無)
9×1	防犯2遅延(30/60秒)時間設定	【0】30秒	【1】60秒
9×2	防犯警報30秒自動停止有/無	【0】無	【1】有(9×0の設定内容が2の時、0と同じ)
9×3	警報30分自動停止の有/無	【0】無	【1】有(火災/ガス/非常警報は停止しない)
9×4	水漏れ住戸内鳴動の有/無	【1】表示、警報有	【0】表示、警報無【2】表示のみ有
9×5	トイレコールON時の玄関子機移報有/無	【0】無	【1】有
9×6	トイレコールON時の移報遅延	【00】	【00~60】移報遅延時間(秒)
9×7	バスコールON時の玄関子機移報有/無	【0】無	【1】有
9×8	バスコールON時の移報遅延	【00】	【00~60】移報遅延時間(秒)
9×9	火災確認時間	【2】	【2~5】火災断定時間(分)
▲9△0	防犯玄関子機30秒移報遅延	【0】無	【1】有(9×0防犯玄関子機警報有の時のみ有効)
▲9△1	バス・トイレSW対応種別	【0】ノンロック	【1】ロック(ロック:センサ連動)
▲9△2	家人呼びSWロック/ノンロック	【0】ロック	【1】ノンロック(ロック:センサ連動)
▲9△3	外部試験時テレコン移報出力(火災)	【1】有	【0】無

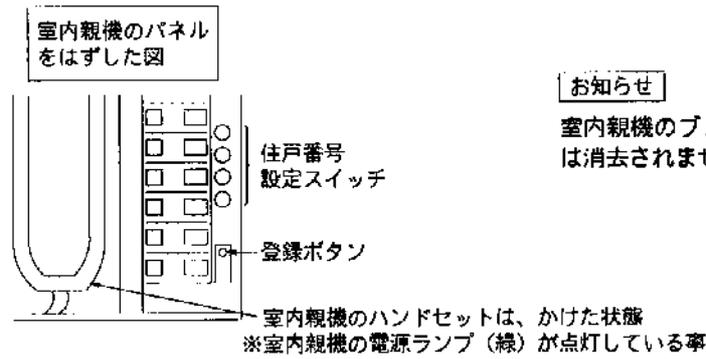
×: 0, 2, 4, 6      △: 1, 3, 5, 7

#### 緊急通話ユニット(VG-M380)のセキュリティパターン

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
9×0	生活異常・生活異常(トイレ)の玄関子機移報	【0】無	【1】有(移報遅延無)
9×1	警報音自動停止時間	【0】1分	【1】2分
9×2	警報音自動停止	【0】無	【1】有
9×3	-	【0】	
9×4	-	【1】	
9×5	緊急・トイレ・ペンダントコールの玄関子機移報	【0】無	【1】有
9×6	緊急・トイレ・ペンダントコールの予告時間	【00】	【00~60】移報遅延時間(秒)
9×7	バスコールの玄関子機移報	【0】無	【1】有
9×8	バスコールの予告時間	【00】	【00~60】移報遅延時間(秒)
9×9	-	【2】	
9△0	-	【0】	
9△1	-	【0】	
9△2	-	【0】	

×: 0, 2, 4, 6      △: 1, 3, 5, 7

# 住戸番号を室内親機から自動登録方式で設定する手順



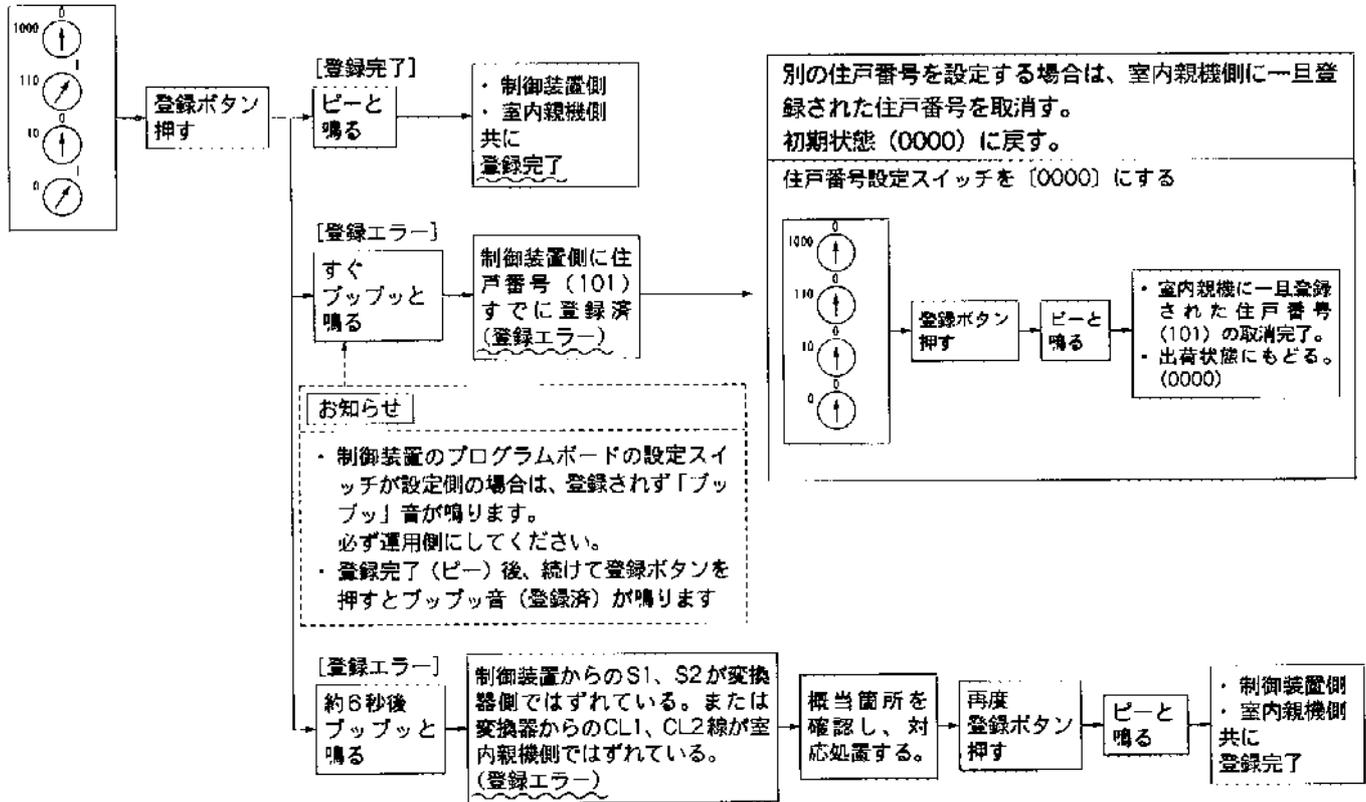
**お知らせ**  
室内親機のブレーカーが切られたり停電になった場合でも住戸番号は消去されません。

## 住戸番号の設定

※注意 中央制御装置の電源投入およびリセット後、1分以上経過した後に、自動登録して下さい。

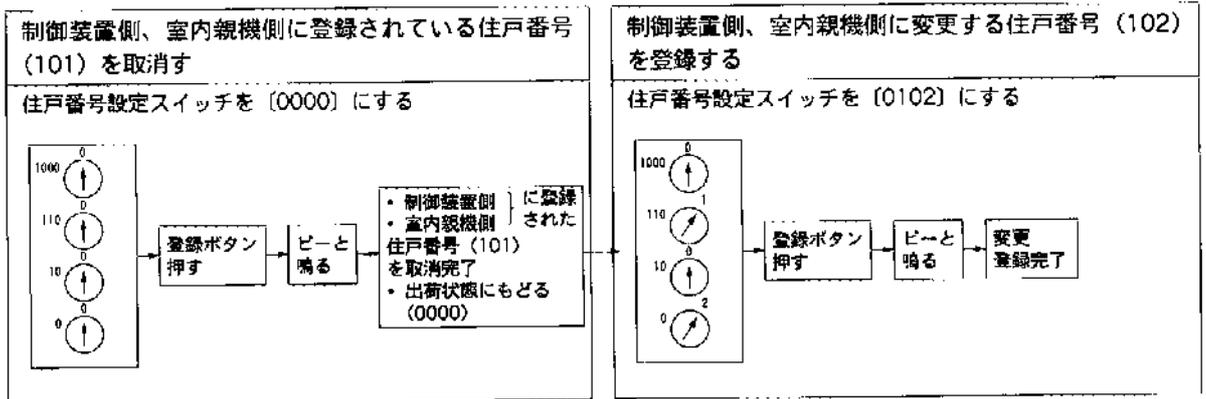
※注意 各室内親機の自動登録は10秒以上の間隔をあけて下さい。

(例) 101号室にする  
住戸番号設定スイッチ [0101]

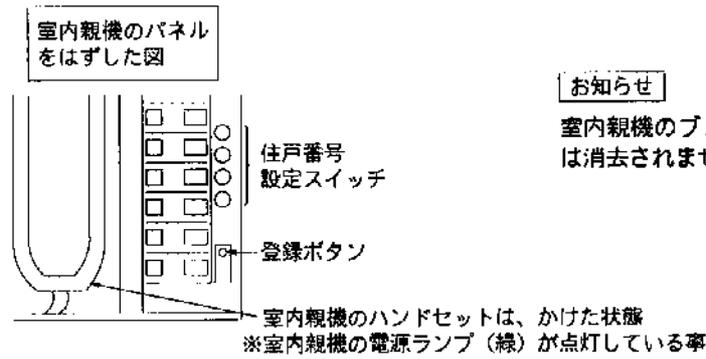


## 住戸番号の変更

(例) 101 → 102 変更



# 住戸番号を室内親機から自動登録方式で設定する手順



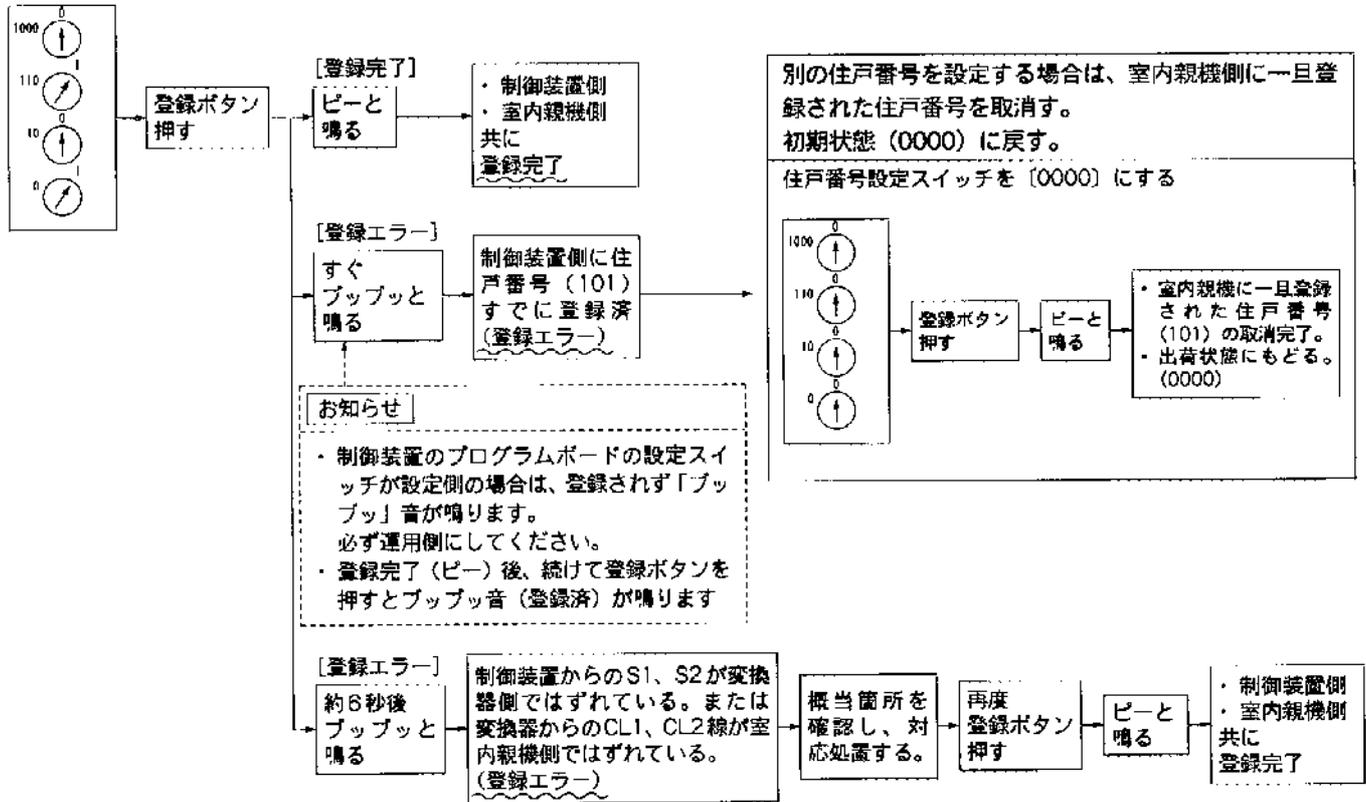
**お知らせ**  
室内親機のブレーカーが切られたり停電になった場合でも住戸番号は消去されません。

## 住戸番号の設定

※注意 中央制御装置の電源投入およびリセット後、1分以上経過した後に、自動登録して下さい。

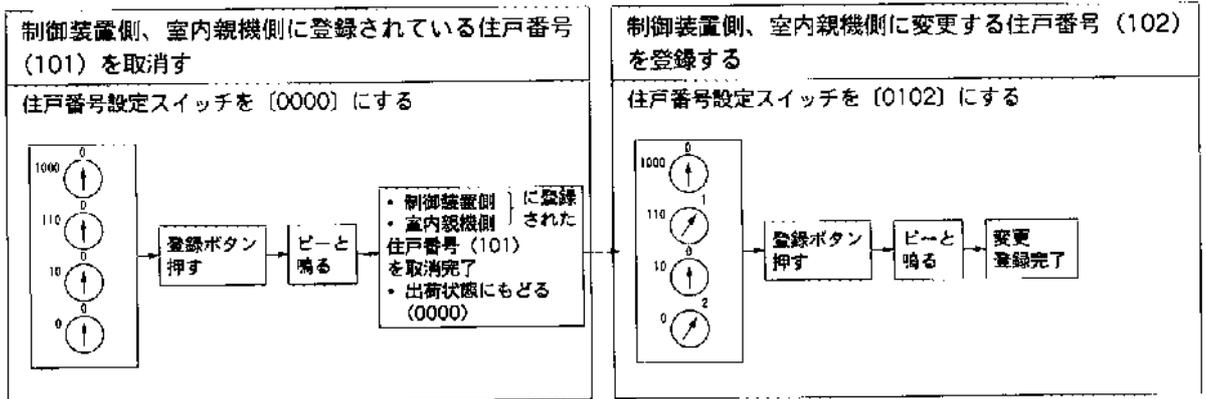
※注意 各室内親機の自動登録は10秒以上の間隔をあけて下さい。

(例) 101号室にする  
住戸番号設定スイッチ [0101]



## 住戸番号の変更

(例) 101 → 102 変更

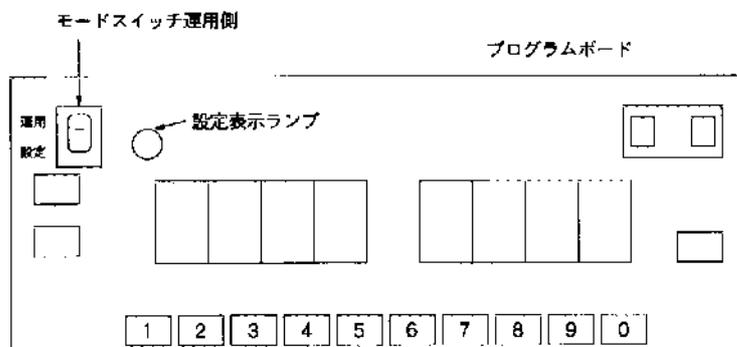


## プログラムボードの準備

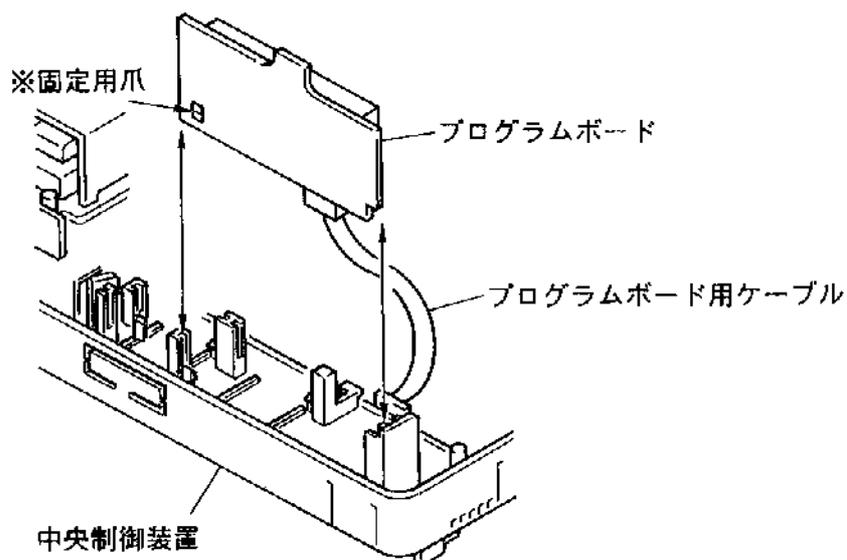
プログラムボードは、プログラム登録開始時、中央制御装置より取り出してください。  
終了後、中央制御装置に収納してください。

### お願い

プログラム設定終了後、プログラムボードのモードスイッチは、運用側にしてください。  
(設定表示ランプは、消灯)

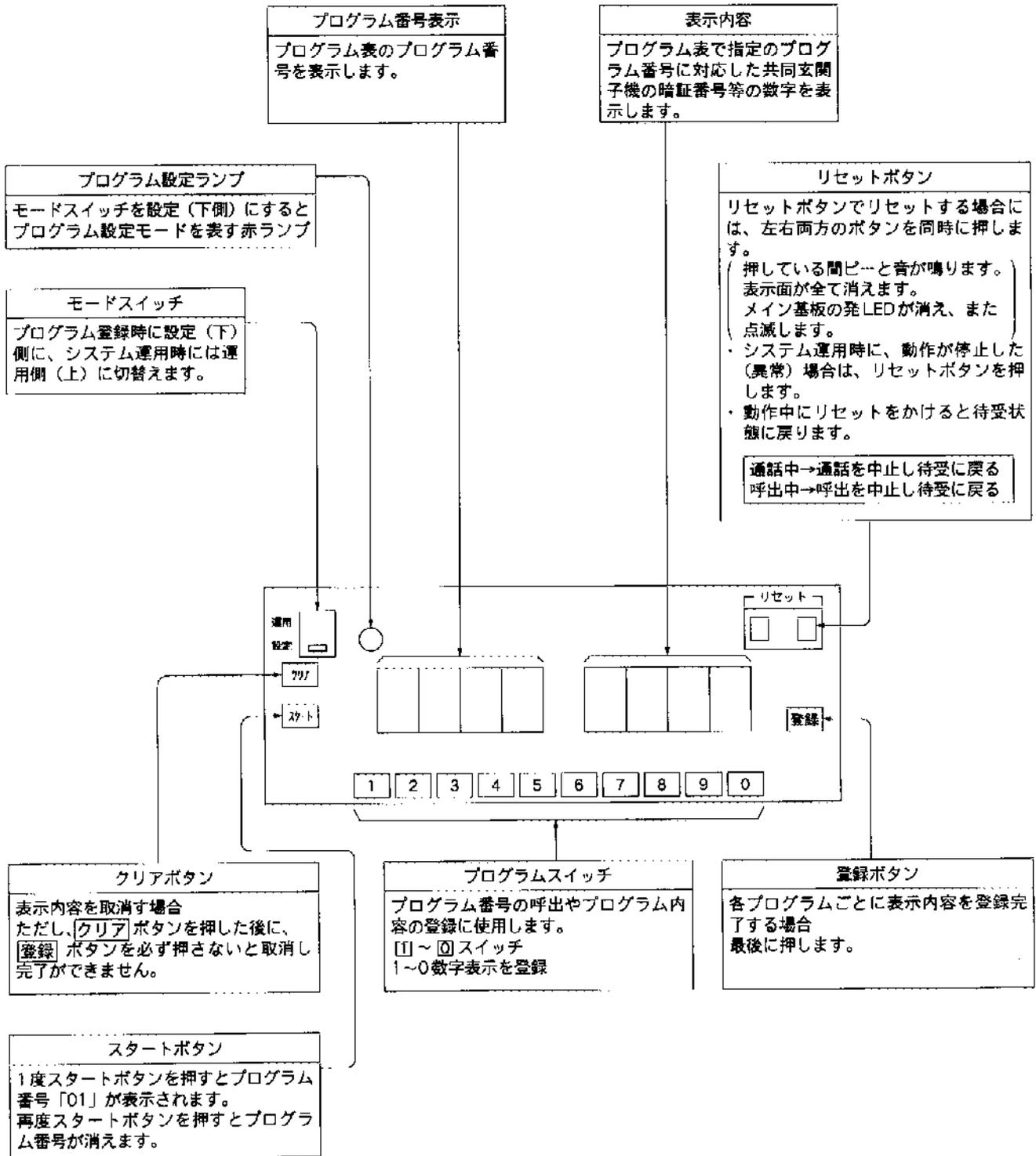


※収納する場合は、固定用爪がひっかかるまで（プログラムボード用ケーブルを、はさまないように）上から押し込んでください。



## プログラム表とプログラムボードの関連

プログラム表とプログラムボードの関係およびプログラムボードの操作部の説明を下記に示します。



## イニシャルセット（初期設定）の方法…出荷時状態（初期値）

- (1) 作成したプログラムを登録完了後、または登録途中でこのイニシャルセットを実行すると登録した内容は消えてイニシャルセット状態（工場出荷時）になります。
- (2) プログラム登録を行う前に必ずこのイニシャルセット手順を実行してください。  
イニシャルセットが不完全な場合、CPUが動作しませんのでご注意ください。
- (3) 住戸番号等は初期設定されていませんので登録してください。（室内親機側の住戸番号自動登録方式により）

1. プログラムボードのモードスイッチは、必ず運用側にしてください。
2. 中央制御装置の電源スイッチをOFF（緑ランプ消える（赤ランプ点灯））

3. メイン基板のセット⇔クリア（SW1）スイッチをクリア（下側）にする

4. 中央制御装置の電源スイッチをONにする（緑ランプ点灯）

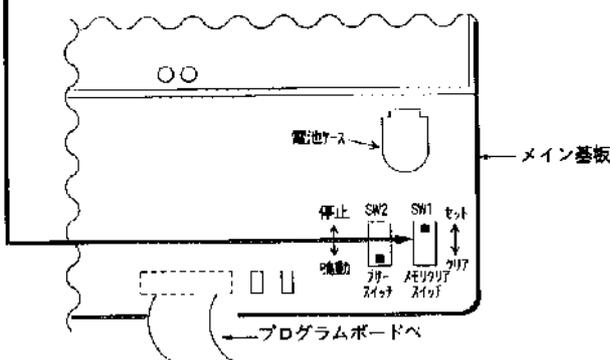
- (※2) 表示部に「E-3」と表示されピー音が鳴る。  
(「E-3」表示が出ない場合もあります)

5. メイン基板のセット⇔クリア（SW1）スイッチをセット（上側）にする

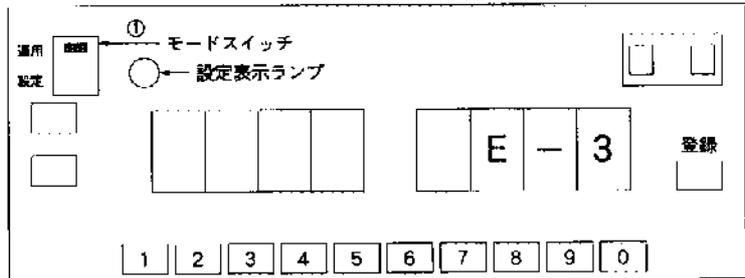
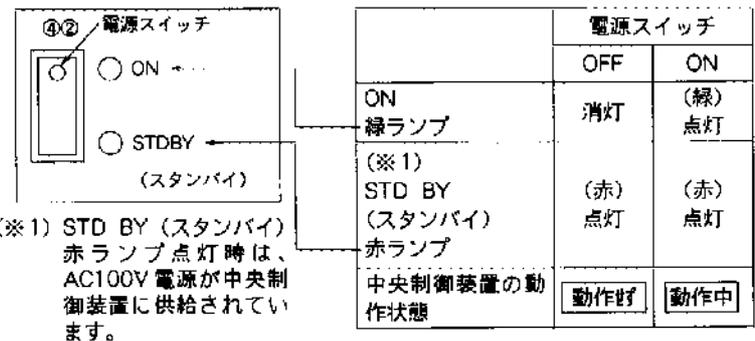
- (※2) (プログラムボードの表示部の「E-3」表示が消えピー音がとまる)

イニシャルセット（初期設定）完了

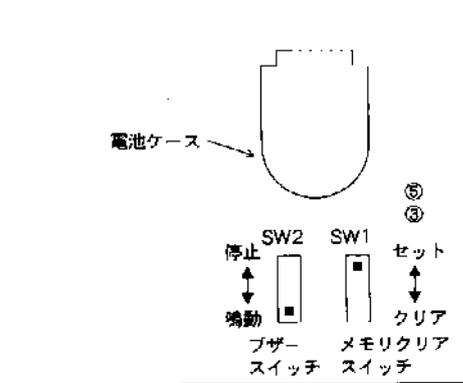
プログラム設定スタート



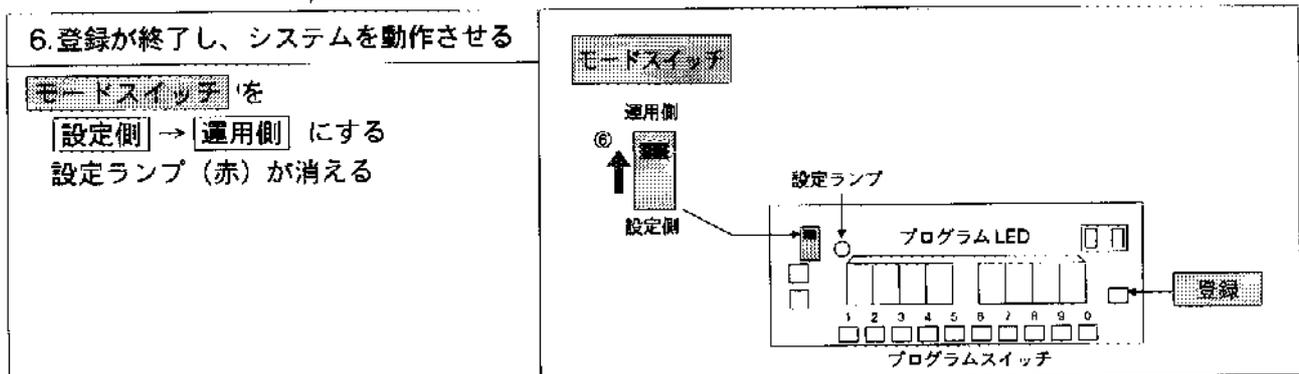
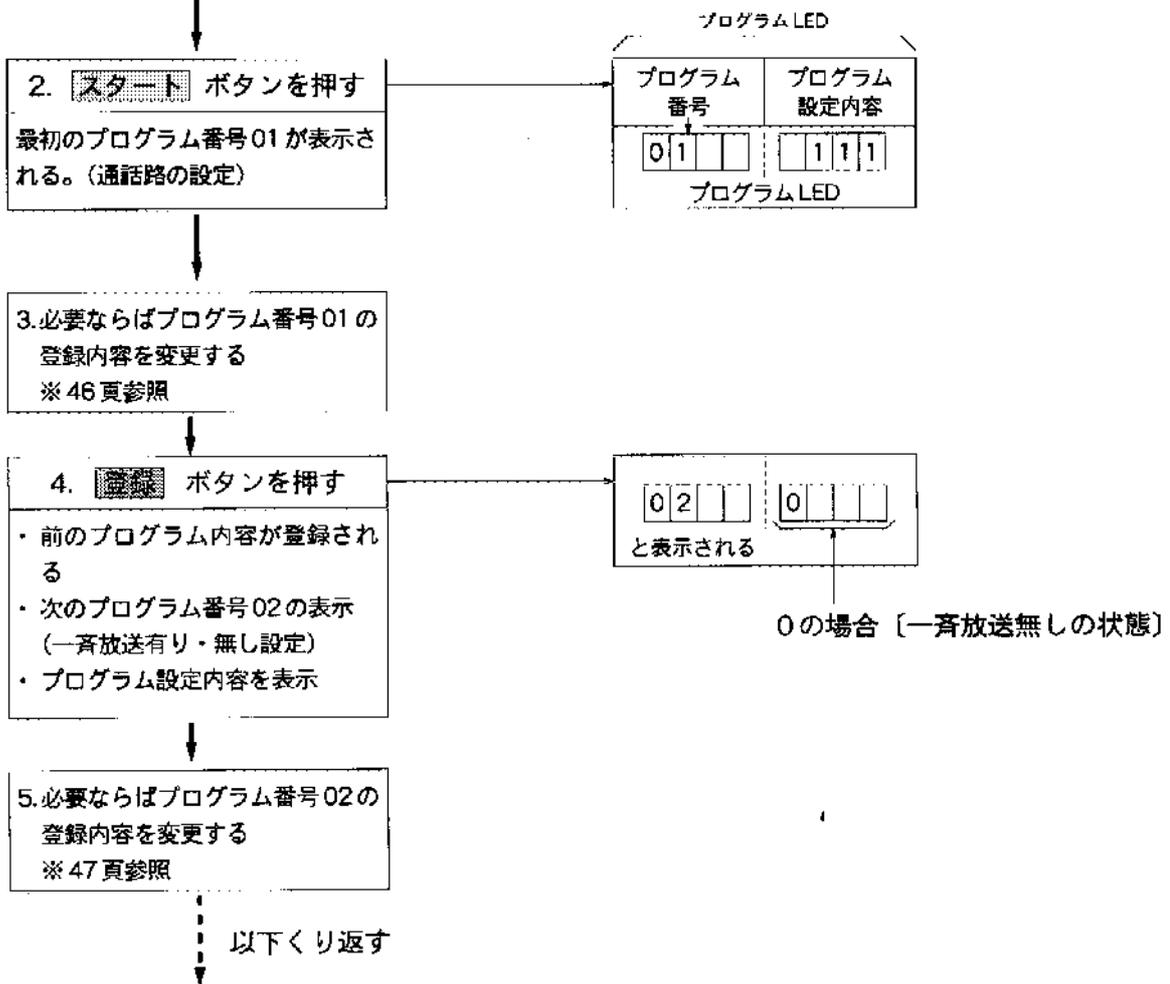
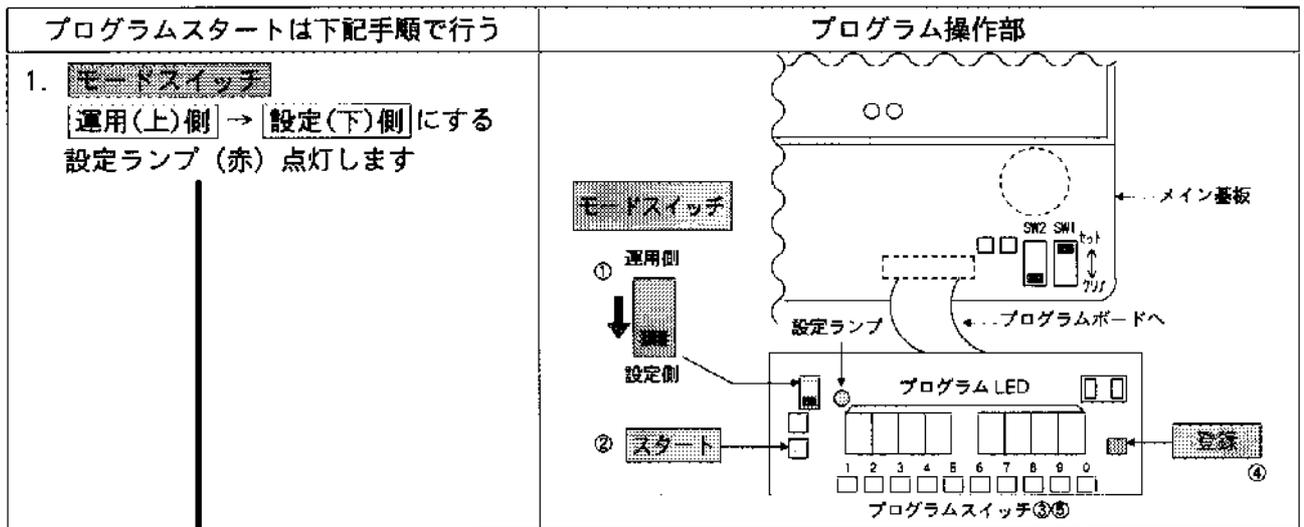
### <中央制御装置の電源スイッチ部>



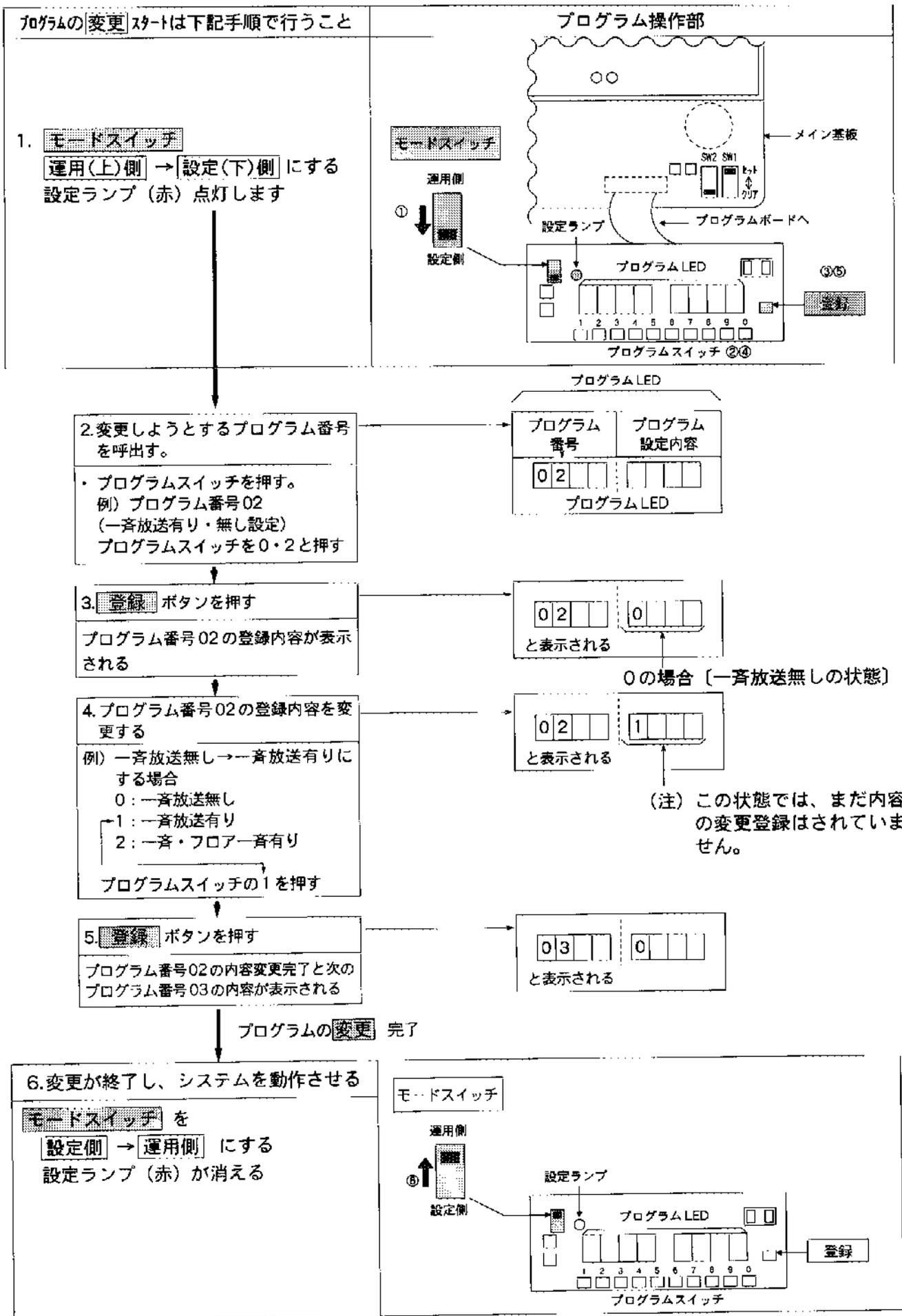
- (※2) 制御装置の電池の近くにあるブザースイッチ（SW2）が鳴動側（出荷時状態）の場合にピー音が鳴動します。



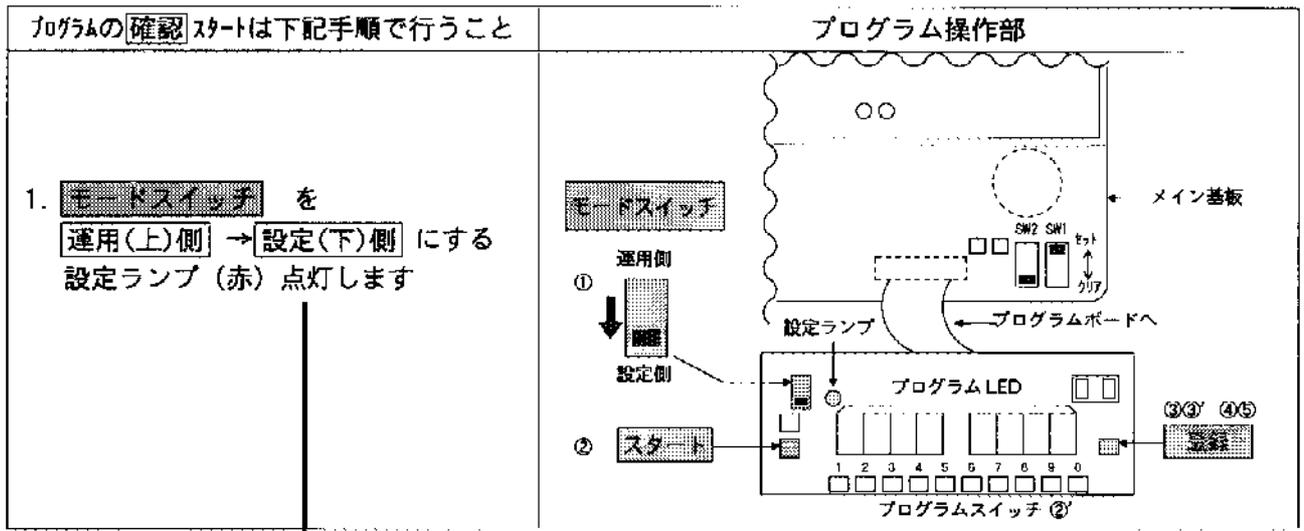
# プログラムを最初から変更登録する場合



# プログラムの登録内容を一部変更する場合

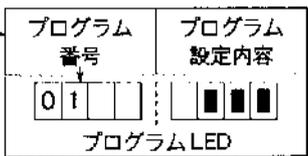


# プログラムの登録内容を **確認** する場合

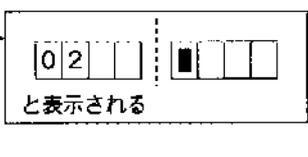


プログラム番号の最初01から **確認** する場合

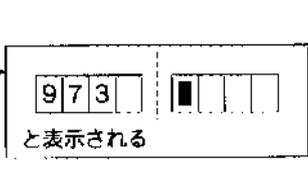
2. **スタート** ボタンを押す  
最初のプログラム番号01の内容が表示される。



3. **登録** ボタンを押す  
次のプログラム番号02の内容が表示される。



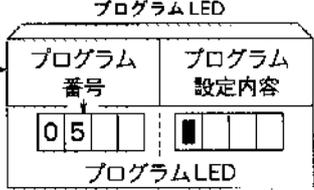
4. **登録** ボタンを押す  
最後のプログラム番号973の内容が表示される。



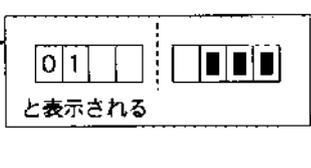
プログラム番号の任意を **確認** する場合

2'. 任意の確認するプログラム番号を呼出す。  
プログラムスイッチを押す。  
(例) プログラム番号05  
( 管理事務室親機の  
接続台数 )  
プログラムスイッチ0・5と押す。

3'. **登録** ボタンを押す  
プログラム番号05の内容が表示される。



5. **登録** ボタンを押す  
最初のプログラム番号01に戻る。



プログラムの **確認** 完了

6. 確認が終了し、システムを動作させる  
**モードスイッチ** を **設定側** → **運用側** にする  
設定ランプ (赤) が消える

